

院内がん登録 2014-2015年5年生存率集計

がん診療連携拠点病院等/小児がん拠点/都道府県推薦病院

令和5(2023)年3月
国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター

院内がん登録 2014-2015 年 5 年生存率集計の公表について

国立がん研究センターでは、がん対策研究所（旧称：がん対策情報センター）・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断症例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん登録情報を基にした生存率集計は、10 年生存率、5 年生存率、科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するためにより早い段階での生存率として 3 年生存率を公表して参りました。

本報告書では、がん診療連携拠点病院をはじめ全国 555 施設から 2015 年診断例の 5 年予後情報付データを提供いただきました。このうち、集計基準である生存状況把握割合が 90% 以上であった 427 施設件数のデータと、2014 年診断症例について同様の基準をクリアした 447 施設 942,717 件のデータを用いて、2014-2015 年 5 年生存率集計報告書をまとめました。また、今回から、がん以外による死亡の影響を除外するための集計方法として、以前の相対生存率に変え、国際標準となっているネット・サバイバルを採用しました。数値の上では以前のデータとの比較が容易ではなくなりますが、ネット・サバイバルの方が優れた集計方法として定着していることを受けたもので、今後の集計の基礎となると考えられます。

本集計結果が、がん対策立案やがん患者さんへの情報・資料として活用されることを期待します。

令和 5 年 3 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 齊

生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2014、2015 年全国集計の結果を踏まえて、2014-2015 年に診断された例の 5 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、我が国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法を踏まえて、生存状況把握割合¹⁾が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生

存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうか判定できなければならない、そのために原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し、「相対生存率」は、実測生存率を対象と同じ性・年齢、診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで、実際の生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきた。

3) ネット・サバイバル(Net Survival)について

相対生存率は一般的な方法の 1 つではあるが、生存率の高いがん種において理論上 100%以上になることが生じるなど課題も多い。そこで、期待生存率を算出することなく純粋に「がんのみが死因となる状況」を仮定して計算する純生存率(Net Survival、Pohar-Perme 法)が開発された。この方法は国際的にも広く採用されている方法であり、本報告書においても相対生存率に代わり今回からこの方法によるネット・サバイバルを採用している。

4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の都道府県推薦病院に限ってのデータであることに留意する必要がある。更に、都道府県別の集計結果を記載しているが、施設数が少ない都道府県のデータについてはかなりの偏りあるいは不正確さが存在していることを想定する必要がある。このため、ここで示した生存率が、単純に当該都道府県のがん医療の優劣ではないことに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全がん協調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

参考資料

- がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子
2001年9月、大阪府立成人病センター調査部
- がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、
癌の臨床 第46巻第10号、2000年9月、篠原出版新社

目 次

院内がん登録 2014-2015 年 5 年生存率集計の公表について	2
生存率について.....	3
I 2014-2015 年 5 年生存率集計 調査方法	6
1. 収集の対象と方法.....	6
(1) 収集の対象.....	6
(2) 収集方法.....	6
(3) 収集項目と定義.....	6
2. 集計の対象と集計方法.....	7
(1) 集計の対象.....	7
(2) 集計の手順.....	8
(3) 集計項目の定義.....	9
(4) 集計方法.....	9
(5) 公表の対象.....	9
II 2014-2015 年 5 年生存率集計 結果概要.....	13
1. 調査参加施設と登録数.....	13
2. 集計対象.....	13
3. 生存率集計対象者.....	13
III 2014-2015 年 5 年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍>	26
1. 全がん.....	26
2. 胃がん(胃癌).....	29
3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌).....	31
4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌).....	37
5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌).....	41
6. 女性乳がん(女性乳癌).....	45
7. 食道がん(食道癌).....	46
8. 膵臓がん(膵臓癌).....	48
9. 子宮頸がん(子宮頸癌).....	50
10. 子宮体がん(子宮体癌).....	51
11. 前立腺がん(前立腺癌).....	52
12. 膀胱がん(膀胱癌).....	53
13. 喉頭がん(喉頭癌).....	55
14. 胆嚢がん(胆嚢癌).....	57
15. 腎がん(腎癌).....	59
16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌).....	61
17. 甲状腺がん(甲状腺癌).....	63
18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌).....	68
付表(2014-2015 年 5 年生存率集計	70

1. 集計対象施設一覧

I 2014-2015 年 5 年生存率集計 調査方法

1. 収集の対象と方法

(1) 収集の対象

本集計では、2022 年 4 月 1 日時点のがん診療連携拠点病院等 453 施設、小児がん拠点病院 6 施設と 2015 年診断例または 2010 年診断例(2015 年 5 年、2010 年 10 年予後情報付収集と同時収集のため)について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータ提出した都道府県推薦病院 300 施設、及び当時の全国集計時のがん診療連携拠点病院等 16 施設の合計 775 施設に調査を依頼した。データ収集に当たっては、院内がん登録 2015 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2015 年 5 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2015 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者*である。これら対象例の 5 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

なお、2014 年診断例については院内がん登録 2014 年 5 年生存率集計報告書に記載したとおり、2021 年度にデータ収集を行ったデータを用いた。

* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象とするかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全国集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

(2) 収集方法

2015 年診断例のデータは、2022 年 7 月に対象施設へ「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼した。データ収集期間は、2022 年 7 月 25 日から 9 月 2 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん

登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版修正版」において定義された標準項目(以下「標準項目」と略す。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータの收受の段階で品質管理を実施し、論理矛盾がない状態でのデータ提供への協力を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみでのデータ提供についてはデータ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

(3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 5 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間 (日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2014、2015 年全国集計報告書を参照いただきたい。

i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では、施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動の評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正

しく識別する必要がある。この項目では、初回診断（登録施設での診断の有無）と初回治療（登録施設における初回治療の有無）の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

iii. 臨床病期

治療前ステージ

UICC (Union for International Cancer Control) の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のままで登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2014、2015年登録対象はUICC TNM 第7版準拠で登録されている。

iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これらには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法（鎮痛剤、制吐剤）などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法（TACE）に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

2. 集計の対象と集計方法

(1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2014、2015年に診断された例で次の i から iii を満たす例を集計対象とした。

i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

ii. 悪性新生物＜腫瘍＞（一部良性の脳腫瘍）

本集計では、原則として新生物＜腫瘍＞の性状コード3の「悪性、原発部位（悪性新生物＜腫瘍＞）」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。また、GISTの良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

(2) 集計の手順**①集計対象例の選定**

提出されたデータから上記の i から iii に該当する例を抽出した。

i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表 1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表 1-2 集計用症例区分の決定のルールに基づいて、「項目：集計用診断日」、「項目：集計用症例区分」を作成した。その後、集計用症例区分が 2, 3 であった例を集計対象とした。

ii 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目：330 組織診断名コード」の新生物<腫瘍>の性状を表す第 5 桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。但し、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3 の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0:良性」又は「1:良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。また、GIST の良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月>=生年月日の月

⇒診断年月の年-生年

診断年月の月<生年月日の月

⇒診断年月の年-生年-1

上記で求めた年齢が 0~99 歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の㊸~㊻に該当する場合は集計対象から除外した。

㊸性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目：性別が 9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例：前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

㊹追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目 660: 予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

㊺UICC TNM 分類総合ステージが 0 期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1:治療切除、2:非治療切除、3:治療/非治療の別不詳)については腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとして UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。腫瘍切除例以外は UICC TNM 分類治療前ステージを UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが 0 期であった場合は、集計対象から除外した。

㊻ 追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2014、2015 年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

㊼ 集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。5 年生存率を計算する場合には、対象者全員の 5 年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を 100%に近づけるほど、真の値に近づくこととされ、概ね 95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善を要するとされつつも生存状況把握割合が 90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が 90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が 5 年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の 10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合 = (1 - 打ち切り例数 / 集計対象例数) × 100

(3) 集計項目の定義

- 部位区分

表 1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

- 臨床病期

UICC TNM 分類総合ステージ

2014、2015 年診断例では、UICC TNM 分類第 7 版に準拠して UICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合（適応外、不詳、空欄を除く）は術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録されている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

各生存率の集計対象は、表 1-4 の部位・組織形態コードとする。

- 観血的治療

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には、「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

(4) 集計方法

※四捨五入の関係で、計算が一致しないことがあります。

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、5 年後の生存状況変数を作成し生存率を推

定した。追跡期間(日数)が5年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、5 年後の生存状況＝死亡(1)とした。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と、国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターにおいて作成されたコホート生存率表(2016 年版)を用い、ネット・サバイバルを推定した。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、stnsを用いてネット・サバイバルを推定している。

がんごとの集計では、集計対象定義に基づいて集計を行った。なお、上皮内がん(総合ステージ 0 期)については生存状況把握割合の算出の際には対象に含めていない。

(5) 公表の対象

令和 4 年度第 1 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が 30 例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が 30 例未満の場合は、5 年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が 10 未満の場合、個人が特定される可能性が高いことから、厚生労働省平成 28 年 8 月 4 日第 8 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会での検討に従い 1-3 件、4-6 件、7-9 件といった形で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が 1 施設となる場合は表示していない。

参考資料

1)全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案) 2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班

表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日2、当該腫瘍初診日、診断日1、入院日の中で、2013、2014年の日付の項目を用いて作成した。

表1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・口唇		C00、C02.0-02.3、C02.8-0.29、C03.0-C05.0、C05.8-C06.9
大唾液腺		C07、C08
上咽頭		C11
中咽頭		C01、C02.4、C05.1-05.2、C09、C10.0、C10.2-10.9、C14
下咽頭		C12-C13
食道		C15
胃		C16
小腸		C17
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肛門/肛門管		C21
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C10.1、C32
肺		C33-C34
骨・骨軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
膣・外陰		C51、C52
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
精巣		C62、C63.0、C63.1
腎		C64
膀胱		C67
腎盂・尿管		C65、C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998 999	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

※全がんの集計対象の部位分類であり、生存率集計はがん種別となっていることに留意

表 1-4 各生存率の集計対象

	局在コード	組織形態コード
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
肝細胞癌	C220	8170-8175
肝内胆管癌	C221	8013, 8041, 8148, 8160-8161, 8180, 8246, 8980
小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
非小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8157 (但し、8041-8045、8013 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌(女)	C500-509	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8982
食道癌	C150-155, 158, 159	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
膵臓癌	C250-253, 257, 259	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8971
前立腺癌	C619	8000-8157 (但し、8120-8131 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮内膜癌	C540-543, 548, 549	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980
膀胱癌	C670-679	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
甲状腺癌 (乳頭・濾胞癌)	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺癌(未分化癌)	C739	8020, 8021
甲状腺癌(髄様癌)	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0,32.1,32.2, 10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎癌	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管癌	C65.9,66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
卵巣癌(女)	C56	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110

Ⅱ 2014-2015 年 5 年生存率集計 結果概要

1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した 775 施設のうち、555 施設(がん診療連携拠点病院等 414 施設、小児がん拠点 1 施設、都道府県推薦病院 137 施設、任意参加病院 3 施設)から 5 年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率 71.6%)。表 2-1-1 に 2015 年診断例の全登録数と集計対象を示す。なお、2014 年診断例については、2013-2014 年 5 年生存率報告書をご覧ください。

2. 集計対象

(1) 集計の対象(2015 年診断例)

① 集計対象例の選定

i 自施設診断自施設初回治療及び他施設診断自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分 2)」が 494,290 例(60.5%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分 3)」が 159,623 例(19.5%)であり、全登録数の 80.0%を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分 2, 3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが 3)は、564,843 例(69.1%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は 578,609 例(70.8%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100 歳以上が 220 例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70 歳代が 23.1%と最も多く、次いで 60 歳代が 19.3%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明または UICC TNM 分類総合ステージ 0 期の合計 158 例を集計対象から除外した。

② 追跡期間(日数)の確認

5 年予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

(2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、18.4%で、最も高かった施設は 100.0%であった。以降の集計結果では、2015 年診断例で生存状況把握割合が 90%以上であった 427 施設と 2014 年診断例で同様に把握割合が 90%以上であった施設を合わせて、合計 447 施設における登録例を集計対象とし

た。

3. 生存率集計対象者

2015 年診断例の全がんで生存状況把握割合が 90%以上であった 427 施設(がん診療連携拠点病院等 353 施設、小児がん拠点 1 施設、都道府県推薦病院 72 施設、任意参加病院 1 施設)、において集計対象例は、487,506 例であった。

表 2-1-1 2015 年診断例調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	128 施設	(%)	427	(%)	555 施設	(%)
全登録数	130,528	100.0	687,046	100.0	817,574	100.0
症例区分別登録数						
1. 診断のみ	10,388	8.0	39,603	5.8	49,991	6.1
2. 自施設診断・自施設初回治療	82,021	62.8	412,269	60.0	494,290	60.5
3. 他施設診断・自施設初回治療	21,541	16.5	138,082	20.1	159,623	19.5
4. 初回治療開始後・再発	12,697	9.7	69,160	10.1	81,857	10.0
5. 剖検	51	0.0	312	0.0	363	0.0
6. 不明・その他	3,830	2.9	27,620	4.0	31,450	3.8
症例区分(2, 3)(再掲)	103,562	79.3	550,351	80.1	653,913	80.0
症例区分 2, 3のうち						
良性	1,382	1.1	8,105	1.2	9,487	1.2
良性又は悪性の別不詳	639	0.5	3,671	0.5	4,310	0.5
上皮内癌	12,716	9.7	62,557	9.1	75,273	9.2
悪性新生物<腫瘍>	88,825	68.1	476,018	69.3	564,843	69.1
集計対象腫瘍*	90,828	69.6	487,781	71.0	578,609	70.8
症例区分 2, 3、集計対象腫瘍のうち(年齢不詳除く)						
年齢 0~14 歳	261	0.2	1,557	0.2	1,818	0.2
15~39 歳	2,425	1.9	13,687	2.0	16,112	2.0
40 歳代	5,632	4.3	30,327	4.4	35,959	4.4
50 歳代	9,607	7.4	54,565	7.9	64,172	7.8
60 歳代	23,868	18.3	133,957	19.5	157,825	19.3
70 歳代	29,730	22.8	159,421	23.2	189,151	23.1
80-99 歳	19,265	14.8	94,087	13.7	113,352	13.9
100 歳以上	40	0.0	180	0.0	220	0.0
0~99 歳(再掲)	90,788	69.6	487,601	71.0	578,389	70.7
除外対象(以下重複有)						
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	(4-6)	0.0	10	0.0	15	0.0
総合ステージ 0 期	58	0.0	85	0.0	143	0.0
集計対象例	90,725	69.5	487,506	71.0	578,231	70.7

*症例区分 2, 3のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳、脊髄、脳神経その他の中枢神経系に発生した良性又は良性又は悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数 2015 年診断例)

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3) 登録割合
総数		353	709, 802	421, 876	146, 421	80. 1
北海道	独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター	集計対象	2625	1231	695	73. 4
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院	集計対象	1491	944	239	79. 3
北海道	王子総合病院	集計対象	1119	795	134	83. 0
北海道	市立釧路総合病院		1210	842	183	84. 7
北海道	市立札幌病院	集計対象	1503	971	314	85. 5
北海道	JA 北海道厚生連 帯広厚生病院	集計対象	1728	1327	220	89. 5
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1586	1009	263	80. 2
北海道	市立函館病院	集計対象	1208	795	200	82. 4
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院		609	327	122	73. 7
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1752	1322	261	90. 4
北海道	札幌医科大学附属病院		2215	955	645	72. 2
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院	集計対象	1793	1172	276	80. 8
北海道	手稲溪仁会病院	集計対象	2394	1605	382	83. 0
北海道	旭川医科大学病院		1619	874	453	82. 0
北海道	市立旭川病院		916	620	192	88. 6
北海道	独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院		1037	855	78	90. 0
青森	青森県立中央病院		2583	1498	592	80. 9
青森	八戸市立市民病院	集計対象	1496	1038	329	91. 4
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	2003	1409	386	89. 6
岩手	岩手県立二戸病院	集計対象	424	260	42	71. 2
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	3107	1372	1122	80. 3
岩手	岩手県立中部病院	集計対象	1293	737	341	83. 4
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	837	405	176	69. 4
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	509	314	38	69. 2
岩手	岩手県立胆沢病院	集計対象	1084	750	170	84. 9
岩手	岩手県立大船渡病院	集計対象	456	365	46	90. 1
岩手	岩手県立久慈病院	集計対象	398	271	36	77. 1
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	430	213	69	65. 6
宮城	東北大学病院	集計対象	3527	1444	1084	71. 7
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	1944	1107	413	78. 2
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1925	1310	264	81. 8
宮城	仙台医療センター	集計対象	1839	1117	418	83. 5
宮城	大崎市民病院	集計対象	1954	1385	358	89. 2
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	集計対象	1019	777	127	88. 7
宮城	東北医科薬科大学病院		835	527	118	77. 2
宮城	みやぎ県南中核病院	集計対象	535	439	53	92. 0
秋田	秋田大学医学部附属病院	集計対象	1903	946	616	82. 1
秋田	秋田県農業協同組合連合会 由利組合総合病院	集計対象	723	498	102	83. 0
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター	集計対象	897	619	135	84. 1
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院	集計対象	950	753	123	92. 2
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター	集計対象	651	464	81	83. 7
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1239	911	227	91. 8
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院	集計対象	256	170	15	72. 3
秋田	大館市立総合病院	集計対象	795	548	101	81. 6
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター	集計対象	1094	759	171	85. 0
山形	山形県立中央病院	集計対象	2173	1364	499	85. 7
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	2312	1087	654	75. 3
山形	山形市立病院済生館	集計対象	1083	807	100	83. 7
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院	集計対象	1016	763	159	90. 7
山形	日本海総合病院	集計対象	1721	1368	225	92. 6
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	2460	1149	684	74. 5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2,3) 登録割合
福島	太田西ノ内病院	集計対象	1813	1194	389	87.3
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院	集計対象	1630	890	273	71.3
福島	総合南東北病院	集計対象	2115	1121	490	76.2
福島	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院	集計対象	814	546	62	74.7
茨城	茨城県立中央病院	集計対象	1942	1225	451	86.3
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1455	961	191	79.2
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター 株式会社日立製作所	集計対象	1589	1252	216	92.4
茨城	日立総合病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1636	1209	213	86.9
茨城	東京医科大学茨城医療センター	集計対象	954	700	130	87.0
茨城	友愛記念病院	集計対象	1005	615	130	74.1
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院	集計対象	3040	1335	828	71.2
茨城	国立病院機構水戸医療センター	集計対象	1208	877	185	87.9
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	集計対象	857	586	114	81.7
茨城	医療法人社団善仁会 小山記念病院		506	305	10	62.3
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	集計対象	1861	1008	517	81.9
栃木	自治医科大学附属病院	集計対象	3904	2154	924	78.8
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1888	1436	207	87.0
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2656	1684	578	85.2
栃木	那須赤十字病院	集計対象	1034	693	101	76.8
栃木	足利赤十字病院	集計対象	1331	943	212	86.8
群馬	伊勢崎市市民病院	集計対象	1455	843	251	75.2
群馬	群馬県立がんセンター	集計対象	2289	1115	767	82.2
群馬	群馬大学医学部附属病院	集計対象	3130	1414	904	74.1
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	集計対象	492	337	81	85.0
群馬	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター		1639	1107	313	86.6
群馬	公立富岡総合病院	集計対象	924	611	125	79.7
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	857	602	68	78.2
群馬	前橋赤十字病院	集計対象	1628	1112	272	85.0
埼玉	さいたま赤十字病院	集計対象	1621	1106	270	84.9
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3975	2002	166	54.5
埼玉	深谷赤十字病院	集計対象	798	604	163	96.1
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	972	630	113	76.4
埼玉	さいたま市立病院	集計対象	1228	912	180	88.9
埼玉	埼玉医科大学総合医療センター		2756	1660	438	76.1
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	2657	1528	509	76.7
埼玉	川口市立医療センター	集計対象	1401	964	171	81.0
埼玉	国立病院機構埼玉病院	集計対象	1175	765	191	81.4
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	4751	2439	1558	84.1
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院	集計対象	1217	793	148	77.3
埼玉	上尾中央総合病院	集計対象	1930	1322	149	76.2
埼玉	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院	集計対象	1066	685	111	74.7
埼玉	自治医科大学附属さいたま医療センター	集計対象	2511	1276	634	76.1
千葉	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院	集計対象	6199	2209	1932	66.8
千葉	国保旭中央病院	集計対象	2581	2041	239	88.3
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	3038	1951	700	87.3
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院	集計対象	1442	997	132	78.3
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	3730	1821	969	74.8
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院	集計対象	1366	925	177	80.7
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1708	1009	390	81.9
千葉	千葉大学医学部附属病院		3945	2123	982	78.7
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	集計対象	1342	799	191	73.8

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2,3) 登録割合
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1476	1117	114	83.4
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1995	1231	339	78.7
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	2333	1265	542	77.5
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1335	729	113	63.1
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1307	925	194	85.6
千葉	地方独立行政法人さんむ医療センター	集計対象	409	137	33	41.6
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	集計対象	8717	3051	2233	60.6
東京	東京都立駒込病院	集計対象	5079	2314	1339	71.9
東京	青梅市立総合病院	集計対象	1199	840	105	78.8
東京	NTT 東日本関東病院	集計対象	2212	1336	453	80.9
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	2304	1003	305	56.8
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2616	1572	376	74.5
東京	武蔵野赤十字病院	集計対象	2546	1778	392	85.2
東京	がん研有明病院	集計対象	10000	3638	3108	67.5
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	集計対象	3742	1898	917	75.2
東京	日本医科大学付属病院	集計対象	3086	1767	685	79.5
東京	聖路加国際病院	集計対象	2579	1519	654	84.3
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	2420	1342	454	74.2
東京	東京医科大学八王子医療センター	集計対象	1641	1018	284	79.3
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	2826	1835	576	85.3
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院	集計対象	4540	2312	1074	74.6
東京	昭和大学病院	集計対象	2665	1555	601	80.9
東京	慶應義塾大学病院	集計対象	3931	1977	778	70.1
東京	東京都立多摩総合医療センター	集計対象	2841	1661	720	83.8
東京	公立昭和病院	集計対象	1673	1144	272	84.6
東京	東京慈恵会医科大学附属病院	集計対象	3344	1936	783	81.3
東京	虎の門病院	集計対象	4178	1821	1226	72.9
東京	東邦大学医療センター大森病院	集計対象	2512	1716	343	82.0
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	集計対象	2442	1560	469	83.1
東京	東京医科歯科大学病院	集計対象	3070	1534	661	71.5
東京	東京都立墨東病院	集計対象	1528	1037	196	80.7
東京	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター	集計対象	1234	707	213	74.6
東京	東京女子医科大学附属足立医療センター	集計対象	989	718	204	93.2
東京	国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院	集計対象	1561	1166	200	87.5
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	4493	1984	1316	73.4
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2173	1563	356	88.3
神奈川	横浜市立市民病院	集計対象	1906	1411	228	86.0
神奈川	小田原市立病院	集計対象	904	595	123	79.4
神奈川	川崎市立井田病院	集計対象	1327	674	130	60.6
神奈川	相模原協同病院	集計対象	1259	819	156	77.4
神奈川	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	集計対象	2645	1305	777	78.7
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	2986	1586	782	79.3
神奈川	東海大学医学部付属病院	集計対象	3554	2042	735	78.1
神奈川	藤沢市民病院	集計対象	1502	1048	256	86.8
神奈川	北里大学病院	集計対象	4004	2089	988	76.8
神奈川	横浜労災病院	集計対象	2121	1236	322	73.5
神奈川	昭和大学横浜市北部病院	集計対象	2070	1146	438	76.5
神奈川	横浜市立みなと赤十字病院	集計対象	1660	1067	228	78.0
神奈川	大和市立病院	集計対象	1153	846	101	82.1
神奈川	独立行政法人 労働者健康安全機構 関東労災病院	集計対象	1131	769	136	80.0
神奈川	済生会横浜市東部病院	集計対象	2179	1405	425	84.0
神奈川	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター	集計対象	2337	1517	583	89.9
神奈川	湘南鎌倉総合病院	集計対象	1880	1296	203	79.7

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2,3) 登録割合
神奈川	昭和大学藤が丘病院		1758	1087	238	75.4
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	3148	1851	942	88.7
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1397	1043	221	90.5
新潟	新潟市民病院		1938	1376	395	91.4
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1831	1369	272	89.6
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央総合病院	集計対象	1807	1315	407	95.3
新潟	新潟大学医歯学総合病院	集計対象	2430	1131	774	78.4
新潟	県立新発田病院	集計対象	1320	898	237	86.0
新潟	労働者健康安全機構新潟労災病院		371	300	37	90.8
富山	富山県立中央病院	集計対象	2552	1622	551	85.1
富山	黒部市民病院	集計対象	651	519	67	90.0
富山	国立大学法人 富山大学附属病院	集計対象	1260	748	263	80.2
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1466	1047	229	87.0
富山	市立砺波総合病院	集計対象	679	506	50	81.9
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	2233	1134	543	75.1
石川	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター	集計対象	789	614	77	87.6
石川	石川県立中央病院	集計対象	1836	1106	578	91.7
石川	金沢医科大学病院	集計対象	1229	772	226	81.2
石川	小松市民病院	集計対象	880	570	119	78.3
福井	福井県立病院	集計対象	1634	1099	261	83.2
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	集計対象	1543	1042	324	88.5
福井	福井赤十字病院	集計対象	1366	1070	159	90.0
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1392	834	382	87.4
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター	集計対象	182	102	24	69.2
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	2008	1399	300	84.6
山梨	山梨大学医学部附属病院	集計対象	1951	1141	350	76.4
山梨	市立甲府病院	集計対象	669	468	45	76.7
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター	集計対象	1877	1152	525	89.3
長野	信州大学医学部附属病院	集計対象	2423	1033	700	71.5
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	1316	866	214	82.1
長野	飯田市立病院	集計対象	1085	699	154	78.6
長野	長野市民病院	集計対象	1927	1315	498	94.1
長野	長野赤十字病院	集計対象	1885	1152	361	80.3
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	集計対象	1497	891	182	71.7
長野	伊那中央病院	集計対象	885	540	190	82.5
長野	独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター	集計対象	712	398	76	66.6
長野	長野県立木曾病院	集計対象	190	172	9	95.3
長野	北アルプス医療センターあづみ病院	集計対象	349	187	18	58.7
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合病院		635	487	28	81.1
岐阜	岐阜市民病院	集計対象	1397	1118	108	87.8
岐阜	岐阜大学医学部附属病院	集計対象	2296	1352	622	86.0
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	640	463	53	80.6
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1926	1351	351	88.4
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1685	1063	289	80.2
岐阜	大垣市民病院	集計対象	2571	2086	372	95.6
岐阜	中部国際医療センター		1144	645	196	73.5
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	7225	3141	2219	74.2
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2931	1998	597	88.5
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	集計対象	1722	1124	228	78.5
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	集計対象	1999	1477	334	90.6
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院	集計対象	1436	1007	166	81.7

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分2,3) 登録割合
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	1440	1176	134	91.0
静岡	藤枝市立総合病院	集計対象	1156	789	116	78.3
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1545	861	434	83.8
静岡	浜松医療センター	集計対象	1176	893	110	85.3
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	1391	958	151	79.7
静岡	富士市立中央病院		914	546	106	71.3
静岡	国際医療福祉大学熱海病院		521	329	22	67.4
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	3103	1152	1375	81.4
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	集計対象	2001	1544	239	89.1
愛知	海南病院	集計対象	1469	929	198	76.7
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター	集計対象	1875	1200	256	77.7
愛知	小牧市民病院	集計対象	1768	1376	292	94.3
愛知	豊橋市民病院	集計対象	2376	1658	430	87.9
愛知	名古屋大学医学部附属病院		3762	1710	1153	76.1
愛知	独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	集計対象	1399	938	241	84.3
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1361	980	221	88.2
愛知	公立陶生病院	集計対象	1192	951	107	88.8
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	集計対象	1586	1206	195	88.3
愛知	名古屋市立大学病院		2069	1158	546	82.4
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	集計対象	2535	1887	310	86.7
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	集計対象	2355	1622	327	82.8
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	3305	1795	974	83.8
愛知	愛知医科大学病院	集計対象	1817	1174	359	84.4
愛知	半田市立半田病院		1030	774	128	87.6
愛知	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター		1348	846	261	82.1
愛知	岡崎市民病院	集計対象	1311	1014	88	84.1
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1863	1351	352	91.4
三重	松阪中央総合病院		904	563	133	77.0
三重	三重大学医学部附属病院	集計対象	2742	1346	602	71.0
三重	三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院		1400	950	130	77.1
三重	市立四日市病院		1947	1285	393	86.2
滋賀	市立長浜病院	集計対象	788	579	60	81.1
滋賀	滋賀県立総合病院	集計対象	1449	908	215	77.5
滋賀	大津赤十字病院	集計対象	1493	1140	184	88.7
滋賀	彦根市立病院	集計対象	785	550	48	76.2
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	集計対象	1561	767	592	87.1
滋賀	高島市民病院		240	117	16	55.4
京都	京都府立医科大学附属病院	集計対象	2871	1521	701	77.4
京都	京都桂病院	集計対象	1470	1216	135	91.9
京都	京都市立病院	集計対象	1642	1100	170	77.3
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1662	1249	239	89.5
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1803	1247	268	84.0
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	集計対象	2139	1373	345	80.3
京都	市立福知山市民病院	集計対象	835	516	107	74.6
京都	京都岡本記念病院		630	414	31	70.6
京都	京都中部総合医療センター		564	439	33	83.7
京都	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院		904	565	53	68.4
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	集計対象	2141	1462	345	84.4
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1436	950	198	79.9
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター	集計対象	1092	921	71	90.8
大阪	市立豊中病院	集計対象	2157	1543	265	83.8
大阪	大阪国際がんセンター	集計対象	4272	1883	1836	87.1
大阪	大阪市立総合医療センター	集計対象	3074	1733	717	79.7

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分2,3) 登録割合
大阪	大阪赤十字病院	集計対象	2641	1937	379	87.7
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	集計対象	1015	590	175	75.4
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院	集計対象	1821	1268	307	86.5
大阪	大阪大学医学部附属病院		3561	1366	1122	69.9
大阪	大阪医科薬科大学病院	集計対象	3140	1568	951	80.2
大阪	近畿大学病院	集計対象	3429	1790	841	76.7
大阪	大阪公立大学医学部附属病院	集計対象	3612	1541	1318	79.2
大阪	関西医科大学附属病院	集計対象	3008	1804	780	85.9
大阪	国立病院機構大阪医療センター	集計対象	1572	952	319	80.9
大阪	堺市立総合医療センター		1448	965	198	80.3
大阪	和泉市立総合医療センター	集計対象	532	276	95	69.7
大阪	八尾市立病院	集計対象	1102	816	167	89.2
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	3786	1658	1188	75.2
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3676	1636	1095	74.3
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	2972	1918	516	81.9
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	集計対象	2284	1381	500	82.4
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院	集計対象	843	587	122	84.1
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	2017	1271	526	89.1
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	539	399	30	79.6
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	1321	797	137	70.7
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	1001	711	115	82.5
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2757	1478	651	77.2
兵庫	兵庫県立丹波医療センター	集計対象	463	213	78	62.9
兵庫	神戸市立西神戸医療センター	集計対象	1609	1101	265	84.9
兵庫	神鋼記念病院		1345	929	284	90.2
兵庫	兵庫県立尼崎総合医療センター		1422	1195	161	95.4
兵庫	加古川中央市民病院	集計対象	1027	562	160	70.3
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2740	1432	785	80.9
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	1233	719	315	83.9
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	2330	1802	426	95.6
奈良	近畿大学奈良病院	集計対象	1391	919	228	82.5
奈良	市立奈良病院	集計対象	1210	839	125	79.7
奈良	南奈良総合医療センター		205	138	20	77.1
和歌山	紀南病院	集計対象	722	467	96	78.0
和歌山	南和歌山医療センター		678	359	125	71.4
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	2220	1660	355	90.8
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	集計対象	2908	1620	856	85.1
和歌山	橋本市立病院		571	409	43	79.2
和歌山	公立那賀病院		656	421	67	74.4
鳥取	鳥取県立厚生病院	集計対象	654	440	73	78.4
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	971	785	56	86.6
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1829	1118	489	87.9
島根	松江市立病院	集計対象	880	592	101	78.8
島根	松江赤十字病院	集計対象	1208	896	146	86.3
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1547	888	438	85.7
島根	島根県立中央病院	集計対象	1088	858	115	89.4
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	集計対象	800	493	89	72.8
岡山	岡山済生会総合病院	集計対象	1537	956	289	81.0
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	1237	847	149	80.5
岡山	岡山大学病院	集計対象	3397	1430	1097	74.4
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	集計対象	3485	2414	485	83.2
岡山	津山中央病院	集計対象	1393	918	128	75.1
岡山	岡山医療センター	集計対象	1144	833	141	85.1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2,3) 登録割合
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1803	1114	376	82.6
岡山	金田病院	集計対象	158	50	13	39.9
岡山	医療法人清梁会 高梁中央病院		123	45	0	36.6
広島	広島大学病院	集計対象	2931	1648	799	83.5
広島	県立広島病院	集計対象	2204	1242	381	73.6
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院		3135	2014	736	87.7
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1459	1072	176	85.5
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院		1549	998	287	83.0
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	集計対象	1749	991	276	72.4
広島	東広島医療センター	集計対象	1072	624	150	72.2
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	集計対象	1299	863	282	88.1
広島	福山市民病院	集計対象	1944	1201	389	81.8
広島	市立三次中央病院		763	573	78	85.3
山口	山口県立総合医療センター	集計対象	911	601	149	82.3
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	1496	1043	225	84.8
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	集計対象	638	459	59	81.2
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	集計対象	1425	989	218	84.7
山口	山口大学医学部附属病院	集計対象	1976	1049	576	82.2
山口	医療法人医誠会 都志見病院	集計対象	282	184	26	74.5
山口	山口県済生会下関総合病院		925	598	158	81.7
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	1367	948	213	84.9
徳島	徳島大学病院	集計対象	1902	1061	557	85.1
徳島	徳島赤十字病院	集計対象	1216	867	173	85.5
徳島	徳島市民病院		881	494	138	71.7
徳島	徳島県立三好病院		320	183	27	65.6
香川	香川県立中央病院	集計対象	1711	1090	367	85.2
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院	集計対象	1300	912	191	84.8
香川	三豊総合病院	集計対象	1084	745	92	77.2
香川	高松赤十字病院	集計対象	1405	931	252	84.2
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	集計対象	1623	852	423	78.6
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1240	849	171	82.3
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	集計対象	2714	1307	765	76.3
愛媛	住友別子病院	集計対象	594	386	44	72.4
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	2282	942	673	70.8
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	2557	1514	548	80.6
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1726	1227	197	82.5
愛媛	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	集計対象	789	392	115	64.3
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1572	860	440	82.7
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1621	953	504	89.9
高知	高知県立幡多けんみん病院	集計対象	673	421	80	74.4
福岡	久留米大学病院	集計対象	3215	1561	841	74.7
福岡	公立八女総合病院	集計対象	545	343	85	78.5
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	849	485	147	74.4
福岡	社会保険田川病院	集計対象	579	359	59	72.2
福岡	飯塚病院	集計対象	2310	1575	339	82.9
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	集計対象	680	485	61	80.3
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2469	1542	548	84.6
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	集計対象	2605	1066	723	68.7
福岡	九州大学病院	集計対象	4140	1991	1102	74.7
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	2298	1271	543	78.9
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	1475	904	321	83.1
福岡	福岡大学病院	集計対象	2097	1119	591	81.5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2,3) 登録割合
福岡	聖マリア病院	集計対象	1191	824	164	83.0
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	集計対象	2059	1379	385	85.7
福岡	産業医科大学病院	集計対象	1998	1188	466	82.8
福岡	戸畑共立病院	集計対象	979	397	165	57.4
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	集計対象	1380	870	255	81.5
福岡	福岡大学筑紫病院	集計対象	775	450	180	81.3
福岡	一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院	集計対象	413	261	39	72.6
福岡	医療法人原三信病院	集計対象	1229	867	131	81.2
佐賀	地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館	集計対象	1751	996	352	77.0
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院	集計対象	1739	845	542	79.8
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	784	527	77	77.0
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	913	584	150	80.4
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院	集計対象	1107	812	191	90.6
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1848	1259	351	87.1
長崎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	集計対象	1621	967	375	82.8
長崎	長崎みなとメディカルセンター		1162	739	173	78.5
長崎	国立大学法人 長崎大学病院	集計対象	2595	1330	844	83.8
長崎	長崎県島原病院	集計対象	503	338	98	86.7
熊本	熊本大学病院	集計対象	3058	1540	924	80.6
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	671	423	92	76.8
熊本	人吉医療センター	集計対象	788	479	89	72.1
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1889	1196	306	79.5
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1741	866	397	72.5
熊本	済生会熊本病院	集計対象	1886	1179	366	81.9
熊本	荒尾市民病院	集計対象	440	266	77	78.0
大分	大分県立病院	集計対象	1410	943	272	86.2
大分	大分赤十字病院	集計対象	944	577	170	79.1
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1724	811	537	78.2
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター		760	582	108	90.8
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	380	186	61	65.0
大分	中津市立中津市民病院	集計対象	745	476	134	81.9
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	1303	829	220	80.5
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	824	453	204	79.7
宮崎	国立大学法人 宮崎大学医学部附属病院	集計対象	1707	764	458	71.6
鹿児島	国立大学法人 鹿児島大学病院	集計対象	2133	835	848	78.9
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	1188	596	348	79.5
鹿児島	鹿児島県立薩南病院		218	127	50	81.2
鹿児島	鹿児島県立大島病院		311	211	40	80.7
鹿児島	済生会川内病院		638	322	109	67.6
鹿児島	独立行政法人国立病院機構南九州病院	集計対象	455	220	72	64.2
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター	集計対象	511	162	136	58.3
鹿児島	鹿児島市立病院	集計対象	1293	676	315	76.6
鹿児島	公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院	集計対象	775	376	189	72.9
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター	集計対象	333	161	58	65.8
鹿児島	社会医療法人 博愛会 相良病院	集計対象	980	160	555	73.0
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	896	484	175	73.5
沖縄	北部地区医師会病院		295	200	14	72.5
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	1150	704	168	75.8
沖縄	琉球大学病院	集計対象	1695	720	515	72.9
沖縄	沖縄県立宮古病院		263	149	17	63.1

表 2-2-2 都道府県推薦病院等調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数 2015 年診断例)

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分 2, 3) 登録割合	
総数			74	107,772	72,414	13,202	79.4
北海道	国家公務員共済組合連合会 斗南病院		960	595	250	88.0	
北海道	勤医協中央病院	集計対象	900	525	125	72.2	
北海道	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院		416	253	110	87.3	
北海道	製鉄記念室蘭病院		720	634	44	94.2	
北海道	苫小牧市立病院		679	562	16	85.1	
北海道	旭川赤十字病院		984	866	71	95.2	
北海道	JA 北海道厚生連遠軽厚生病院	集計対象	354	212	6	61.6	
北海道	JR 札幌病院		345	277	28	88.4	
青森	三沢市立三沢病院		562	310	114	75.4	
青森	青森市民病院		766	533	164	91.0	
宮城	一般財団法人厚生会 仙台厚生病院		1490	1017	280	87.0	
秋田	中通総合病院	集計対象	603	475	91	93.9	
秋田	市立秋田総合病院	集計対象	918	628	148	84.5	
山形	鶴岡市立荘内病院	集計対象	848	647	137	92.5	
福島	労働者健康安全機構福島労災病院	集計対象	1276	806	248	82.6	
福島	一般財団法人慈山会医学研究所付属坪井病院	集計対象	462	313	68	82.5	
福島	会津中央病院	集計対象	638	501	62	88.2	
福島	公益財団法人星総合病院		783	456	226	87.1	
茨城	茨城西南医療センター病院	集計対象	500	335	61	79.2	
茨城	水戸赤十字病院		1372	1040	157	87.2	
茨城	水戸済生会総合病院		849	550	67	72.7	
栃木	独立行政法人国立病院機構宇都宮病院	集計対象	199	120	17	68.8	
群馬	国立病院機構沼田病院	集計対象	255	154	36	74.5	
群馬	利根保健生活協同組合 利根中央病院		442	360	10	83.7	
群馬	独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院	集計対象	451	419	2	93.3	
群馬	SUBARU 健康保険組合 太田記念病院		623	522	0	83.8	
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象	769	392	194	76.2	
群馬	原町赤十字病院	集計対象	243	108	13	49.8	
埼玉	埼玉石心会病院	集計対象	1084	560	83	59.3	
埼玉	秀和総合病院	集計対象	574	420	65	84.5	
埼玉	埼玉協同病院		1046	628	64	66.2	
埼玉	社会医療法人さいたま市民医療センター		809	540	91	78.0	
千葉	医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院		1169	615	142	64.8	
千葉	千葉市立海浜病院		478	304	86	81.6	
千葉	谷津保健病院		492	271	29	61.0	
千葉	東京女子医科大学八千代医療センター		490	347	82	87.6	
千葉	聖隷佐倉市民病院		225	173	9	80.9	
東京	東京女子医科大学病院		2924	1326	812	73.1	
東京	日本医科大学多摩永山病院	集計対象	1047	698	157	81.7	
東京	国家公務員共済組合連合会 立川病院		1325	705	167	65.8	
東京	順天堂大学医学部附属練馬病院		1712	1104	220	77.3	
東京	国際医療福祉大学三田病院		1362	565	177	54.5	
東京	東京共済病院		595	382	107	82.2	
東京	J R 東京総合病院		833	529	64	71.2	
東京	東京都済生会中央病院	集計対象	1077	796	73	80.7	
東京	社会福祉法人 三井記念病院	集計対象	1697	1014	235	73.6	
東京	河北総合病院		903	546	36	64.5	
東京	東大和病院	集計対象	688	402	77	69.6	
東京	東京慈恵会医科大学附属第三病院		1412	1022	164	84.0	
東京	公立学校共済組合関東中央病院		984	636	106	75.4	

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2,3) 登録割合
神奈川	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院		693	564	57	89.6
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	集計対象	1402	1137	138	90.9
神奈川	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター	集計対象	1033	579	170	72.5
神奈川	済生会横浜市南部病院	集計対象	1504	1108	181	85.7
神奈川	神奈川県立こども医療センター	集計対象	74	55	1	75.7
神奈川	独立行政法人国立病院機構相模原病院		1046	633	73	67.5
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院	集計対象	301	229	10	79.4
富山	高岡市民病院		717	576	38	85.6
富山	富山赤十字病院		940	712	87	85.0
富山	富山県済生会高岡病院		191	129	17	76.4
石川	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	集計対象	509	342	51	77.2
石川	芳珠記念病院	集計対象	275	201	21	80.7
石川	公立松任石川中央病院		634	540	65	95.4
石川	金沢赤十字病院		112	58	17	67.0
石川	石川県済生会金沢病院		491	204	49	51.5
福井	市立敦賀病院		393	267	20	73.0
岐阜	松波総合病院	集計対象	1165	1023	39	91.2
岐阜	朝日大学病院	集計対象	438	363	35	90.9
静岡	沼津市立病院	集計対象	780	495	50	69.9
静岡	焼津市立総合病院	集計対象	1001	693	130	82.2
静岡	富士宮市立病院	集計対象	677	459	76	79.0
静岡	国立病院機構 静岡医療センター		584	311	51	62.0
静岡	島田市立総合医療センター		956	770	51	85.9
愛知	春日井市民病院	集計対象	1541	1190	97	83.5
愛知	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院		1862	1353	266	86.9
三重	済生会松阪総合病院	集計対象	948	509	48	58.8
三重	松阪市民病院	集計対象	700	514	57	81.6
三重	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター桑名西医療センター		244	131	31	66.4
滋賀	淡海医療センター	集計対象	744	364	106	63.2
滋賀	近江八幡市立総合医療センター	集計対象	722	560	54	85.0
滋賀	済生会滋賀県病院	集計対象	868	626	79	81.2
京都	社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院		305	243	20	86.2
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院	集計対象	804	623	83	87.8
大阪	大阪府済生会千里病院	集計対象	791	536	83	78.3
大阪	箕面市立病院	集計対象	882	651	109	86.2
大阪	社会医療法人 仙養会 北摂総合病院		280	227	15	86.4
大阪	パナソニック健康保険組合松下記念病院	集計対象	841	684	88	91.8
大阪	医療法人徳洲会 徳洲会総合病院	集計対象	1057	712	94	76.3
大阪	ベルランド総合病院	集計対象	1318	946	139	82.3
大阪	社会医療法人 生長会 府中病院		1007	737	152	88.3
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	集計対象	967	723	78	82.8
大阪	関西電力病院	集計対象	827	605	98	85.0
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	集計対象	856	640	136	90.7
大阪	大阪警察病院	集計対象	1918	1323	432	91.5
大阪	公益財団法人日本生命済生会付属日生病院		528	411	13	80.3
大阪	関西医科大学総合医療センター	集計対象	1237	768	252	82.5
大阪	社会医療法人美杉会佐藤病院	集計対象	342	213	23	69.0
大阪	医療法人藤井会石切生喜病院	集計対象	962	750	35	81.6
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院	集計対象	490	342	67	83.5
大阪	P L病院		480	365	48	86.0
大阪	国家公務員共済組合連合会 大手前病院		675	420	69	72.4
大阪	財団法人田附興風会 北野病院	集計対象	1871	1262	281	82.5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分2,3) 登録割合
大阪	一般財団法人住友病院		721	614	69	94.7
大阪	社会医療法人愛仁会 千船病院		328	248	16	80.5
大阪	市立ひらかた病院	集計対象	786	482	69	70.1
兵庫	独立行政法人 国立病院機構 神戸医療センター		666	474	56	79.6
奈良	国保中央病院		574	133	18	26.3
奈良	大和高田市立病院	集計対象	627	479	36	82.1
奈良	社会福祉法人恩賜財団 済生会中和病院	集計対象	627	427	85	81.7
鳥取	独立行政法人国立病院機構米子医療センター	集計対象	774	497	76	74.0
鳥取	鳥取市立病院	集計対象	568	459	56	90.7
鳥取	鳥取生協病院		227	87	13	44.1
鳥取	鳥取赤十字病院		676	511	68	85.7
鳥取	医療法人 十字会 野島病院		161	120	17	85.1
島根	松江医療センター		127	111	7	92.9
岡山	岡山市立市民病院		618	448	65	83.0
岡山	一般社団法人 倉敷成人病センター	集計対象	698	476	126	86.2
岡山	川崎医科大学総合医療センター	集計対象	595	361	83	74.6
広島	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院	集計対象	743	591	70	89.0
広島	公立学校共済組合 中国中央病院	集計対象	717	556	94	90.7
山口	総合病院山口赤十字病院		620	436	84	83.9
山口	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター	集計対象	621	351	49	64.4
高知	高知赤十字病院		926	632	131	82.4
高知	独立行政法人国立病院機構 高知病院		626	396	66	73.8
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構諫早総合病院		1165	732	171	77.5
長崎	佐世保中央病院	集計対象	686	462	79	78.9
熊本	独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター		191	123	30	80.1
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	集計対象	1081	693	142	77.2
熊本	大腸肛門病センター高野病院	集計対象	262	200	45	93.5
熊本	天草地域医療センター	集計対象	430	274	51	75.6
熊本	熊本地域医療センター		508	320	102	83.1
大分	独立行政法人国立病院機構大分医療センター	集計対象	577	392	84	82.5
鹿児島	医療法人徳洲会大隅鹿屋病院		235	151	34	78.7
鹿児島	公益社団法人鹿児島共済会南風病院	集計対象	850	481	197	79.8
鹿児島	鹿児島市医師会病院	集計対象	503	186	161	69.0
鹿児島	今村総合病院		755	371	154	69.5
沖縄	社会医療法人敬愛会 中頭病院		1222	933	58	81.1
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	集計対象	662	388	140	79.8
沖縄	沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院	集計対象	273	225	11	86.4
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	集計対象	592	403	35	74.0
沖縄	独立行政法人国立病院機構 沖縄病院	集計対象	438	122	83	46.8

Ⅲ 2014-2015 年 5 年生存率集計 結果詳細(全体) : 悪性新生物<腫瘍>

1. 全がん

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	447	942,717	371,523	98.2	68.3

(0) 全がんの生存率集計値

全がんでの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録 5 年生存率集計においても全がんでの生存率集計結果について提示する。

(1) 生存状況把握割合

対象者は 942,717 例で、その内 5 年以内に死亡していた者は 371,523 例、打ち切りが 17,206 例であった。全体として、生存状況把握割合は 98.2%であった。

(2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表 3-1-1 に示す。男性が 57.7%、女性が 42.3%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代となっており、60 歳代、70 歳代で全体の 60.2%を占めた。60.3%の対象者に観血的治療が実施されており、53.6%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、他疾患経過観察中が 31.3%であった。部位別にみると、男性では胃、肺、前立腺、大腸の順に、女性では乳房、大腸、胃の順に多かった。

表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	544,270	100.0	398,447	100.0	942,717	100.0
拠点病院等	500,246	91.9	367,063	92.1	867,309	92.0
都道府県推薦病院	44,024	8.1	31,384	7.9	75,408	8.0
年齢						
平均年齢(SD)	69.8	11.7	66.2	15.0	68.3	13.3
0-14歳	1,655	0.3	1,378	0.3	3,033	0.3
15-39歳	9,187	1.7	17,768	4.5	26,955	2.9
40歳代	17,491	3.2	40,928	10.3	58,419	6.2
50歳代	50,307	9.2	55,957	14.0	106,264	11.3
60歳代	161,716	29.7	97,556	24.5	259,272	27.5
70歳代	201,595	37.0	106,974	26.8	308,569	32.7
80歳以上	102,319	18.8	77,886	19.5	180,205	19.1
観血的治療						
有	297,359	54.6	270,935	68.0	568,294	60.3
原発巣・治癒切除	262,937	48.3	242,256	60.8	505,193	53.6
原発巣・非治癒切除	26,430	4.9	21,591	5.4	48,021	5.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	7,992	1.5	7,088	1.8	15,080	1.6
無	246,911	45.4	127,512	32.0	374,423	39.7
発見経緯						
がん検診	36,062	6.6	34,614	8.7	70,676	7.5
健康診断・人間ドック	49,225	9.0	25,157	6.3	74,382	7.9
他疾患経過観察中	190,960	35.1	103,723	26.0	294,683	31.3
その他・不明	268,023	49.2	234,953	59.0	502,976	53.4
部位						
口腔・口唇	7,160	1.3	4,948	1.2	12,108	1.3
大唾液腺	1,252	0.2	783	0.2	2,035	0.2
中咽頭	4,136	0.8	981	0.2	5,117	0.5
上咽頭	779	0.1	247	0.1	1,026	0.1
下咽頭	5,772	1.1	487	0.1	6,259	0.7
食道	25,206	4.6	4,531	1.1	29,737	3.2
胃	91,906	16.9	39,204	9.8	131,110	13.9
小腸	2,561	0.5	1,524	0.4	4,085	0.4
結腸	42,654	7.8	35,310	8.9	77,964	8.3
直腸	27,622	5.1	15,129	3.8	42,751	4.5
大腸(再掲)	70,276	12.9	50,439	12.7	120,715	12.8
肛門・肛門管	424	0.1	498	0.1	922	0.1
肝臓	24,965	4.6	11,024	2.8	35,989	3.8
胆嚢胆管	10,713	2.0	8,328	2.1	19,041	2.0
膵臓	18,821	3.5	15,269	3.8	34,090	3.6
喉頭	6,903	1.3	557	0.1	7,460	0.8
肺	80,126	14.7	38,014	9.5	118,140	12.5
骨軟部	2,750	0.5	2,066	0.5	4,816	0.5
皮膚	13,075	2.4	12,213	3.1	25,288	2.7
乳房	529	0.1	85,632	21.5	86,161	9.1
膣・外陰	0	0.0	1,552	0.4	1,552	0.2
子宮頸部	0	0.0	14,533	3.6	14,533	1.5
子宮体部	0	0.0	19,232	4.8	19,232	2.0
子宮	0	0.0	36	0.0	36	0.0
卵巢	0	0.0	11,750	2.9	11,750	1.2
前立腺	78,386	14.4	0	0.0	78,386	8.3
精巣	2,259	0.4	0	0.0	2,259	0.2
腎	14,188	2.6	5,891	1.5	20,079	2.1
膀胱	13,953	2.6	4,195	1.1	18,148	1.9
腎盂・尿管	5,523	1.0	2,708	0.7	8,231	0.9
脳・中枢神経系	10,051	1.8	13,356	3.4	23,407	2.5
甲状腺	4,555	0.8	11,692	2.9	16,247	1.7
悪性リンパ腫	18,841	3.5	16,123	4.0	34,964	3.7
多発性骨髄腫	3,996	0.7	3,348	0.8	7,344	0.8
白血病	7,779	1.4	5,237	1.3	13,016	1.4
その他の血液	7,831	1.4	4,688	1.2	12,519	1.3
その他	9,554	1.8	7,361	1.8	16,915	1.8

(3)5年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及びネット・サバイバルを示す。年齢が高いほど実測生存率とネット・サバイバル乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 5 年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	55.5	62.8	62.6 62.9	66.9	70.8	70.6 71.0	60.3	66.2	66.1 66.3
拠点病院等	55.8	63.1	62.9 63.3	67.3	71.16	71.0 71.3	60.7	66.5	66.4 66.6
都道府県推薦病院	51.4	59.0	58.4 59.5	62.3	66.4	65.8 67.0	55.9	62.1	61.7 62.5
年齢									
0-14 歳	85.4	85.5	83.8 87.2	83.6	83.8	81.8 85.7	84.6	84.7	83.4 86.0
15-39 歳	80.5	80.7	79.9 81.6	86.7	86.9	86.4 87.4	84.6	84.8	84.4 85.3
40 歳代	72.8	73.4	72.8 74.1	86.9	87.3	87.0 87.6	82.7	83.2	82.9 83.5
50 歳代	67.4	69.0	68.6 69.4	80.3	81.2	80.8 81.5	74.2	75.4	75.2 75.7
60 歳代	62.8	66.6	66.4 66.9	72.8	74.6	74.3 74.9	66.6	69.6	69.4 69.8
70 歳代	55.2	63.3	63.0 63.5	63.0	67.0	66.7 67.3	57.9	64.6	64.4 64.8
80 歳以上	32.9	58.8	48.3 49.2	39.9	51.1	50.6 51.5	35.9	49.8	49.4 50.1
観血的治療									
有	71.9	80.9	80.7 81.1	82.1	86.7	86.5 86.8	76.8	83.7	83.5 83.8
原発巣・治癒切除	74.8	84.2	84.0 84.4	85.0	89.8	89.6 89.9	79.7	86.9	86.8 87.0
原発巣・非治癒切除	46.9	52.2	51.5 52.9	53.1	55.6	54.9 56.3	49.7	53.7	53.2 54.2
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	60.6	68.3	67.0 69.6	70.9	74.6	73.5 75.8	65.5	71.3	70.4 72.1
無	35.6	40.8	40.6 41.1	34.5	36.9	36.6 37.2	35.2	39.5	39.3 39.7

2. 胃がん(胃癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	442	126,675	47,319	98.1	71.3
I 期	442	80,349	14,328	97.7	71.4
II 期	442	11,271	4,448	98.3	71.4
III 期	442	12,950	8,051	98.9	71.1
IV 期	441	20,197	18,872	99.1	70.3

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数（3以降も同様）

(1) 生存状況把握割合

集計対象者は、126,675例で、5年以内に死亡していた者は47,319例、打ち切りが2,403例で、生存状況把握割合は、全体で98.1%であった。

歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代・70歳代で全体の約6割以上を占めた。UICC TNM分類総合ステージを見ると、I期が63.4%、次いでIV期が15.9%を占めた。79.9%において観血的治療が実施されており、74.4%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が34.3%であった。

(2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表3-2-1に示す。性別にみると、男性が7割以上を占めた。診断時の年齢は、70

表3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	89,522	100.0	37,153	100.0	126,675	100.0
拠点病院等	81,595	91.1	33,726	90.8	115,321	91.0
都道府県推薦病院	7,927	8.9	3,427	9.2	11,354	9.0
年齢						
平均年齢 (SD)	71.2 (9.8)		71.5 (11.9)		71.3 (10.5)	
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
15-39 歳	548	0.6	613	1.6	1,161	0.9
40 歳代	1,859	2.1	1,487	4.0	3,346	2.6
50 歳代	7,299	8.2	3,093	8.3	10,392	8.2
60 歳代	26,156	29.2	8,866	23.9	35,022	27.6
70 歳代	35,484	39.6	12,988	35.0	48,472	38.3
80 歳以上	18,175	20.3	10,103	27.2	28,278	22.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	57,622	64.4	22,727	61.2	80,349	63.4
II 期	7,759	8.7	3,512	9.5	11,271	8.9
III 期	8,944	10.0	4,006	10.8	12,950	10.2
IV 期	13,888	15.5	6,309	17.0	20,197	15.9
不詳	1,309	1.5	599	1.6	1,908	1.5
観血的治療						
有	71,966	80.4	29,295	78.8	101,261	79.9
原発巣・治癒切除	66,999	74.8	27,256	73.4	94,255	74.4
原発巣・非治癒切除	4,130	4.6	1,749	4.7	5,879	4.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	837	0.9	290	0.8	1,127	0.9
無	17,566	19.6	7,858	21.2	25,414	20.1
発見経緯						
がん検診	8,471	9.5	3,323	8.9	11,794	9.3
健康診断・人間ドック	11,324	12.6	3,465	9.3	14,789	11.7
他疾患経過観察中	32,228	36.0	11,238	30.2	43,446	34.3
その他・不明	37,499	41.9	19,127	51.5	56,626	44.7

(3)5年生存率

男女別にみた5年ネット・サバイバルはほぼ同様であった。年代別にみると、80歳以上ではネット・サバイバルと実測生存率の差が広がる傾向があった。また、観血治療を受けた者では、ネット・サバイバルは全体で85.6%であった。

表 3-2-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	61.4	70.4	70.7 70.8	64.4	69.9	69.3 70.4	62.3	70.2	69.9 70.6
拠点病院等	62.0	71.0	70.6 71.4	65.0	70.5	69.9 71.1	62.9	70.9	70.6 71.2
都道府県推薦病院	55.2	63.7	62.4 65.1	57.9	63.4	61.5 65.3	56.0	63.6	62.5 64.7
年齢									
0-39歳	63.6	63.8	59.7 67.9	59.4	59.5	55.5 63.4	61.3	61.5	58.7 64.4
40歳代	70.6	71.2	69.1 73.3	69.7	70.0	67.7 72.4	70.2	70.7	69.1 72.3
50歳代	74.3	76.2	75.1 77.2	72.6	73.5	71.9 75.1	73.8	75.4	74.5 76.2
60歳代	70.2	74.5	73.9 75.1	72.1	73.9	72.9 74.8	70.7	74.4	73.9 74.9
70歳代	62.3	71.6	71.0 72.2	69.5	74.2	73.3 75.0	64.2	72.3	71.8 72.8
80歳以上	40.6	59.9	58.8 61.0	47.8	60.2	58.9 61.5	43.2	60.0	59.2 60.8
UICC TNM 分類総合ステージ									
I期	80.2	92.3	91.8 92.7	86.6	94.2	93.7 94.7	82.0	92.8	92.5 93.1
II期	58.5	66.3	65.0 67.6	64.0	69.2	67.4 71.0	60.2	67.2	66.1 68.2
III期	36.5	40.9	39.7 42.0	39.5	42.2	40.6 43.9	37.4	41.3	40.3 42.2
IV期	5.9	6.5	6.1 7.0	5.5	5.8	5.2 6.4	5.8	6.3	6.0 6.7
不詳	13.3	15.8	13.4 18.3	13.4	15.7	12.1 19.3	13.3	15.8	13.8 17.8
観血的治療									
有	74.5	85.3	84.9 85.7	79.6	86.2	85.7 86.7	76.0	85.6	85.3 85.9
原発巣・治癒切除	77.2	88.3	87.9 88.7	82.8	89.6	89.1 90.1	78.8	88.7	88.4 89.0
原発巣・非治癒切除	34.4	40.9	39.1 42.7	32.7	36.6	34.1 39.2	33.9	39.6	38.2 41.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	56.1	66.3	62.2 70.5	61.5	67.9	61.6 74.1	57.5	66.7	63.2 70.2
無	7.6	9.2	8.7 9.7	7.5	8.8	8.1 9.5	7.6	9.1	8.7 9.5

3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌)

大腸がん(大腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	443	116,826	42,016	98.2	70.1
I 期	443	31,960	5,357	97.8	69.7
II 期	442	30,099	7,269	98.0	71.5
III 期	443	30,592	9,491	98.2	69.2
IV 期	443	22,366	18,405	98.7	69.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象 116,826 例のうち、5 年以内に死亡していた者は 42,016 例、打ち切りが 2,166 例で、全体として生存状況把握割合は 98.2%であった。

の年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多かった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I、II、III 期ともに 26%前後にばらついていた。85.9%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、77.4%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 24.3%、がん検診が 10.3%、健康診断・人間ドックが 8.3%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3①-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が 58.3%を占めた。診断時

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	68,111	100.0	48,715	100.0	116,826	100.0
拠点病院等	60,553	88.9	43,230	88.7	103,783	88.8
都道府県推薦病院	7,558	11.1	5,485	11.3	13,043	11.2
年齢						
平均年齢 (SD)	69.5 (11.0)		70.9 (12.4)		70.1 (11.6)	
0-14 歳	(1-3)		0		(1-3)	
15-39 歳	786	1.2	697	1.4	1,483	1.3
40 歳代	2,657	3.9	2,262	4.6	4,919	4.2
50 歳代	7,533	11.1	5,280	10.8	12,813	11.0
60 歳代	21,003	30.8	12,204	25.1	33,207	28.4
70 歳代	23,655	34.7	15,314	31.4	38,969	33.4
80 歳以上	12,474	18.3	12,958	26.6	25,432	21.8
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	19,683	28.9	12,277	25.2	31,960	27.4
II 期	17,403	25.6	12,696	26.1	30,099	25.8
III 期	17,259	25.3	13,333	27.4	30,592	26.2
IV 期	12,768	18.7	9,598	19.7	22,366	19.1
不詳	998	1.5	811	1.7	1,809	1.5
観血的治療						
有	58,504	85.9	41,813	85.8	100,317	85.9
原発巣・治癒切除	52,779	77.5	37,626	77.2	90,405	77.4
原発巣・非治癒切除	4,871	7.2	3,584	7.4	8,455	7.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	854	1.3	603	1.2	1,457	1.2
無	9,607	14.1	6,902	14.2	16,509	14.1
発見経緯						
がん検診	6,811	10.0	5,253	10.8	12,064	10.3
健康診断・人間ドック	6,082	8.9	3,648	7.5	9,730	8.3
他疾患経過観察中	17,612	25.9	10,816	22.2	28,428	24.3
その他・不明	37,606	55.2	28,998	59.5	66,604	57.0

(3)5年生存率

5年生存率を表3-3①-2に示す。5年ネット・サバイバルは、男女ともほぼ同様であり全体では約70～71%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率とネット・サバイバルの差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少なくないためと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、I期では92.3%、II期では85.5%であった。観血的治療を受けたものではネット・サバイバルは80.8%であり、原発巣・治癒切除例においては85.6%であった。

表3-3①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	62.4	70.7	70.3	71.2	65.6	71.1	70.6	71.6	63.8	70.9	70.6	71.2
拠点病院等	62.6	70.9	70.4	71.4	65.9	71.3	70.8	71.8	64.0	71.1	70.7	71.4
都道府県推薦病院	60.6	69.3	68.0	70.7	63.5	69.3	67.8	70.8	61.9	69.3	68.3	70.3
年齢												
0-39歳	73.6	73.9	70.7	77.0	73.8	73.9	70.6	77.2	73.7	73.9	71.6	76.2
40歳代	75.8	76.5	74.8	78.1	76.0	76.3	74.6	78.1	75.9	76.4	75.2	77.6
50歳代	74.5	76.2	75.2	77.2	76.4	77.2	76.1	78.4	75.2	76.6	75.9	77.4
60歳代	70.4	74.6	74.0	75.3	75.1	76.9	76.1	77.7	72.1	75.5	75.0	76.0
70歳代	61.4	70.4	69.7	71.1	69.3	73.9	73.1	74.6	64.5	71.8	71.2	72.3
80歳以上	40.0	60.0	58.6	61.3	45.6	58.6	57.5	59.8	42.9	59.3	58.4	60.2
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	80.4	91.1	90.4	91.8	87.4	94.2	93.5	94.9	83.1	92.3	91.8	92.8
II期	73.6	84.8	84.0	85.6	78.5	86.4	85.6	87.3	75.6	85.5	84.9	86.1
III期	66.6	74.6	73.7	75.4	71.4	76.8	75.9	77.6	68.7	75.5	74.9	76.1
IV期	17.0	18.6	17.8	19.3	17.0	17.8	17.0	18.6	17.0	18.3	17.7	18.8
不詳	18.8	21.8	18.7	24.9	12.7	14.3	11.4	17.3	16.1	18.5	16.3	20.6
観血的治療												
有	70.9	80.4	80.0	80.9	75.1	81.3	80.8	81.7	72.7	80.8	80.5	81.1
原発巣・治癒切除	75.0	85.1	84.6	85.5	79.6	86.2	85.8	86.7	76.9	85.6	85.2	85.9
原発巣・非治癒切除	30.0	35.5	32.1	35.0	30.0	32.2	30.6	33.9	30.0	33.0	31.9	34.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	54.3	61.4	57.5	65.3	56.8	61.5	57.1	65.9	55.3	61.5	58.5	64.4
無	10.1	11.2	10.5	11.9	7.9	8.7	8.0	9.4	9.2	10.2	9.6	10.7

結腸がん(結腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	443	76,813	28,246	98.1	71.3
I 期	443	21,121	3,712	97.7	70.7
II 期	442	21,026	5,198	97.9	72.7
III 期	443	18,710	5,825	98.1	70.8
IV 期	443	14,705	12,461	98.9	70.4

(1) 生存状況把握割合

対象数は、76,813 例、うち死亡数が 28,246 例、打ち切り数が 1,482 例で生存状況把握割合は 98.1%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3②-1 に示す。男性が約 55%、女性が約 45%を占め、平均年齢は 71.3 歳であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I・II 期が約 27%台であった。約 87%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3②-1 結腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	42,129	100.0	34,684	100.0	76,813	100.0
拠点病院等	37,371	88.7	30,718	88.6	68,089	88.6
都道府県推薦病院	4,758	11.3	3,966	11.4	8,724	11.4
年齢						
平均年齢 (SD)	70.8 (10.8)		72.0 (12.1)		71.3 (11.4)	
0-14 歳	(1-3)		0		(1-3)	
15-39 歳	413	1.0	430	1.2	843	1.1
40 歳代	1,340	3.2	1,376	4.0	2,716	3.5
50 歳代	3,797	9.0	3,201	9.2	6,998	9.1
60 歳代	12,015	28.5	8,170	23.6	20,185	26.3
70 歳代	15,467	36.7	11,269	32.5	26,736	34.8
80 歳以上	9,095	21.6	10,238	29.5	19,333	25.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	12,715	30.2	8,406	24.2	21,121	27.5
II 期	11,388	27.0	9,638	27.8	21,026	27.4
III 期	9,645	22.9	9,065	26.1	18,710	24.4
IV 期	7,726	18.3	6,979	20.1	14,705	19.1
不詳	655	1.6	596	1.7	1,251	1.6
観血的治療						
有	36,684	87.1	29,909	86.2	66,593	86.7
原発巣・治癒切除	33,154	78.7	26,900	77.6	60,054	78.2
原発巣・非治癒切除	3,031	7.2	2,600	7.5	5,631	7.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	499	1.2	409	1.2	908	1.2
無	5,445	12.9	4,775	13.8	10,220	13.3
発見経緯						
がん検診	4,368	10.4	4,000	11.5	8,368	10.9
健康診断・人間ドック	3,776	9.0	2,686	7.7	6,462	8.4
他疾患経過観察中	12,753	30.3	8,635	24.9	21,388	27.8
その他・不明	21,232	50.4	19,363	55.8	40,595	52.8

(3)5年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 5 年実測生存率とネット・サバイバルを示す。年齢が高くなるほど実測生存率とネット・サバイバルの差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなるものが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期、II 期ではネット・サバイバルは 90%に近い数値であった。

表 3-3②-2 結腸 属性別 5 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	61.6	70.7	70.2	71.3	64.6	70.6	70.0	71.1	62.9	70.7	70.3	71.1
拠点病院等	61.7	70.8	70.2	71.4	64.8	70.7	70.1	71.4	63.1	70.8	70.4	71.2
都道府県推薦病院	60.4	70.1	68.4	71.8	62.7	69.0	67.2	70.8	61.5	69.6	68.4	70.8
年齢												
0-39 歳	72.5	72.8	68.4	77.2	70.5	70.6	66.3	75.0	71.5	71.7	68.6	74.8
40 歳代	75.2	75.9	73.6	78.3	74.3	74.7	72.4	77.1	74.8	75.3	74.6	77.0
50 歳代	74.2	76.0	74.6	77.4	74.6	75.5	73.9	77.0	74.4	75.7	74.7	76.8
60 歳代	71.1	75.4	74.6	76.3	74.9	76.8	75.8	77.8	72.6	76.0	75.3	76.6
70 歳代	62.0	71.2	70.3	72.1	69.6	74.1	73.2	75.1	65.2	72.4	71.8	73.1
80 歳以上	40.4	60.7	59.2	62.3	46.1	59.4	58.1	60.7	43.4	60.1	59.0	61.1
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	79.2	90.6	89.7	91.5	86.8	94.2	93.4	95.1	82.2	92.1	91.4	92.7
II 期	72.3	84.7	83.6	85.7	78.3	86.8	85.8	87.8	75.1	85.7	84.9	86.4
III 期	66.5	75.6	74.4	76.7	70.9	76.9	75.8	78.0	68.6	76.2	75.4	77.0
IV 期	14.3	15.7	14.9	16.6	15.0	15.8	14.9	16.7	14.6	15.8	15.1	16.4
不詳	16.3	18.9	15.2	22.6	13.0	14.9	11.4	18.4	14.7	17.0	14.5	19.5
観血的治療												
有	69.7	80.1	79.5	80.6	73.8	80.6	80.0	81.1	71.5	80.3	79.9	80.7
原発巣・治癒切除	73.9	85.0	84.4	85.6	78.7	85.9	85.3	86.5	76.1	85.4	85.0	85.8
原発巣・非治癒切除	26.1	29.5	27.7	31.3	26.2	28.4	26.5	30.2	26.2	29.0	27.7	30.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	50.1	57.6	52.4	62.8	54.8	60.1	54.6	65.5	52.2	58.7	54.9	62.5
無	6.7	7.7	6.9	8.5	6.4	7.1	6.3	8.0	6.5	7.4	6.8	8.0

直腸がん(直腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	442	40,013	13,770	98.3	67.7
I期	442	10,839	1,645	98.0	67.8
II期	438	9,073	2,071	98.3	68.9
III期	442	11,882	3,666	98.4	66.8
IV期	442	7,661	5,944	98.5	66.8

(1) 生存状況把握割合

対象数は40,013例、うち死亡数が13,770例、打ち切り数が684例で生存状況把握割合は98.3%であった。

対象者の属性を表3-3③-1に示す。男性が約65%、女性が約35%を占め、平均年齢は、67.7歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、III期が29.7%であった。約84%になんらかの観血的治療が実施されていた。

(2) 対象者の属性

表3-3③-1 直腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	25,982	100.0	14,031	100.0	40,013	100.0
拠点病院等	23,182	89.2	12,512	89.2	35,694	89.2
都道府県推薦病院	2,800	10.8	1,519	10.8	4,319	10.8
年齢						
平均年齢 (SD)	67.4 (11.0)		68.2 (12.6)		67.7 (11.6)	
0-14歳	(1-3)		0		(1-3)	
15-39歳	373	1.4	267	1.9	640	1.6
40歳代	1,317	5.1	886	6.3	2,203	5.5
50歳代	3,736	14.4	2,079	14.8	5,815	14.5
60歳代	8,988	34.6	4,034	28.8	13,022	32.5
70歳代	8,188	31.5	4,045	28.8	12,233	30.6
80歳以上	3,379	13.0	2,720	19.4	6,099	15.2
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	6,968	26.8	3,871	27.6	10,839	27.1
II期	6,015	23.2	3,058	21.8	9,073	22.7
III期	7,614	29.3	4,268	30.4	11,882	29.7
IV期	5,042	19.4	2,619	18.7	7,661	19.1
不詳	343	1.3	215	1.5	558	1.4
観血的治療						
有	21,820	84.0	11,904	84.8	33,724	84.3
原発巣・治癒切除	19,625	75.5	10,726	76.4	30,351	75.9
原発巣・非治癒切除	1,840	7.1	984	7.0	2,824	7.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	355	1.4	194	1.4	549	1.4
無	4,162	16.0	2,127	15.2	6,289	15.7
発見経緯						
がん検診	2,443	9.4	1,253	8.9	3,696	9.2
健康診断・人間ドック	2,306	8.9	962	6.9	3,268	8.2
他疾患経過観察中	4,859	18.7	2,181	15.5	7,040	17.6
その他・不明	16,374	63.0	9,635	68.7	26,009	65.0

(3)5年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 5 年実測生存率とネット・サバイバルを示す。年齢が高くなるほど実測生存率とネット・サバイバルの差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなるものが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I 期ではネット・サバイバルは 90%以上であった。

表 3-3③-2 直腸 属性別 5 年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間			
全体	63.8	70.7	70.0	71.3	68.2	72.4	71.5	73.2	65.3	71.3	70.7	71.8
拠点病院等	64.1	71.0	70.3	71.7	68.5	72.7	71.8	73.5	65.6	71.6	71.0	72.1
都道府県推薦病院	60.8	67.6	65.5	69.8	65.3	69.9	67.0	72.7	62.4	68.4	66.7	70.1
年齢												
0-39 歳	74.6	74.9	70.4	79.4	79.3	79.5	74.5	84.4	76.5	76.8	73.5	80.1
40 歳代	76.2	76.9	74.6	79.2	78.2	78.6	75.8	81.3	77.0	77.6	75.8	79.4
50 歳代	74.6	76.4	74.9	77.8	79.0	79.9	78.1	81.7	76.2	77.6	76.5	78.8
60 歳代	69.5	73.6	72.6	74.6	75.3	77.2	75.8	78.5	71.3	74.7	73.9	75.5
70 歳代	60.2	68.9	67.6	70.1	68.7	73.1	71.6	74.6	63.0	70.3	69.3	71.2
80 歳以上	39.0	57.9	55.3	60.4	43.9	55.5	53.1	58.0	41.2	56.8	55.0	58.6
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	82.5	91.9	90.8	93.0	88.7	94.2	93.0	95.3	84.7	92.7	91.9	93.5
II 期	75.9	85.0	83.7	86.3	79.1	85.1	83.4	86.8	77.0	85.0	84.0	86.1
III 期	66.8	73.3	72.0	74.5	72.4	76.3	74.9	77.8	68.8	74.4	73.4	75.3
IV 期	21.2	22.9	21.6	24.1	22.7	23.5	21.8	25.2	21.7	23.1	22.1	24.1
不詳	23.9	27.5	21.9	33.1	12.0	13.0	7.7	18.2	19.2	21.8	17.8	25.9
観血的治療												
有	73.1	81.0	80.3	81.7	78.2	83.0	82.2	83.8	74.9	81.7	81.2	82.2
原発巣・治癒切除	76.7	85.1	84.4	85.8	82.0	87.1	86.2	87.9	78.6	85.8	85.2	86.3
原発巣・非治癒切除	36.6	40.3	37.8	42.8	40.0	42.3	39.1	45.6	37.8	41.0	39.0	43.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	60.0	66.6	60.9	72.3	61.0	64.6	56.9	72.3	60.3	65.9	61.3	70.5
無	14.6	15.9	14.7	17.2	11.5	12.2	10.7	13.7	13.6	14.7	13.7	15.7

4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌)

肝細胞がん(肝細胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	435	30,699	18,174	98.5	71.9
I期	435	14,084	6,110	98.3	72.2
II期	427	8,813	5,188	98.5	71.5
III期	424	5,043	4,277	98.6	72.0
IV期	417	2,207	2,107	99.2	70.4

(1) 生存状況把握割合

対象者は、30,699例で、そのうち5年以内に死亡していたのは18,174例、打ち切りが471例であった。全体として、生存状況把握割合は98.5%であった。

対象者の属性を表3-4①-1に示す。性別にみると、男性が約71%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男性で38.0%、女性は42.3%だった。UICC TNM総合ステージ別にみると、全体でI期が約46%、II期が約29%となっていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が70.1%だった。

(2) 対象者の属性

表3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	21,687	100.0	9,012	100.0	30,699	100.0
拠点病院等	19,724	90.9	8,131	90.2	27,855	90.7
都道府県推薦病院	1,963	9.1	881	9.8	2,844	9.3
年齢						
平均年齢 (SD)	70.8(9.9)		74.5(9.3)		71.9(9.9)	
0-14歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39歳	78	0.4	33	0.4	111	0.4
40歳代	528	2.4	121	1.3	649	2.1
50歳代	2,144	9.9	401	4.4	2,545	8.3
60歳代	6,350	29.3	1,779	19.7	8,129	26.5
70歳代	8,238	38.0	3,816	42.3	12,054	39.3
80歳以上	4,348	20.0	2,861	31.7	7,209	23.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	9,366	43.2	4,718	52.4	14,084	45.9
II期	6,264	28.9	2,549	28.3	8,813	28.7
III期	3,955	18.2	1,088	12.1	5,043	16.4
IV期	1,726	8.0	481	5.3	2,207	7.2
不詳	376	1.7	176	2.0	552	1.8
取扱い規約治療前ステージ						
I期	4,134	19.1	2,650	29.4	6,784	22.1
II期	8,062	37.2	3,368	37.4	11,430	37.2
III期	5,152	23.8	1,661	18.4	6,813	22.2
IV期	3,598	16.6	1,017	11.3	4,615	15.0
不詳	499	2.3	215	2.4	714	2.3
空欄	242	1.1	101	1.1	343	1.1
観血的治療						
有	6,608	30.5	2,009	22.3	8,617	28.1
原発巣・治癒切除	6,080	28.0	1,863	20.7	7,943	25.9
原発巣・非治癒切除	377	1.7	106	1.2	483	1.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	151	0.7	40	0.4	191	0.6
無	15,079	69.5	7,003	77.7	22,082	71.9
発見経緯						
がん検診	116	0.5	27	0.3	143	0.5
健康診断・人間ドック	881	4.1	150	1.7	1,031	3.4
他疾患経過観察中	14,764	68.1	6,742	74.8	21,506	70.1
その他・不明	5,926	27.3	2,093	23.2	8,019	26.1

取扱い規約治療前ステージが0期の者を若干名含む

(3)5年生存率

5年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、ネット・サバイバルは男女ともに約45%とほぼ同様であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率とネット・サバイバルの差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期ではネット・サバイバルは全体で約63%である。観血的治療を受けたものの割合は約28%であるが、観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは73.2%であった。

表3-4①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	39.5	44.9	44.1	45.7	42.0	45.5	44.4	46.6	40.3	45.1	44.4	45.7
拠点病院等	39.9	45.3	44.5	46.1	42.5	46.0	44.8	47.2	40.7	45.5	44.9	46.2
都道府県推薦病院	35.6	40.7	38.2	43.2	38.7	40.8	37.2	44.4	36.2	40.7	38.7	42.8
年齢												
0-39歳	50.5	50.7	39.3	62.0	65.9	66.0	49.9	82.2	55.1	55.3	45.8	64.7
40歳代	51.4	51.9	47.5	56.2	72.7	73.1	65.0	81.2	55.3	55.8	51.9	59.7
50歳代	47.9	49.0	46.8	51.2	57.0	57.7	52.8	62.6	49.3	50.4	48.4	52.4
60歳代	45.9	48.7	47.4	50.0	51.3	52.6	50.2	55.0	47.1	49.5	48.4	50.7
70歳代	39.6	45.6	44.4	46.8	45.7	48.8	47.1	50.5	41.6	46.6	45.6	47.6
80歳以上	24.3	35.0	33.1	36.9	27.4	33.5	31.4	35.6	25.5	34.4	33.0	35.8
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	56.9	64.9	63.7	66.1	54.5	59.1	57.5	60.7	56.1	63.0	62.0	63.9
II期	40.3	45.4	44.0	46.9	41.3	44.6	42.5	46.8	40.6	45.2	44.0	46.4
III期	15.2	17.2	15.9	18.5	10.6	11.5	9.5	13.5	14.2	16.0	14.9	17.1
IV期	3.7	4.3	3.3	5.4	4.4	4.7	2.7	6.7	3.9	4.4	3.5	5.3
不詳	9.9	11.2	7.6	14.8	10.0	11.3	6.1	16.6	10.0	11.3	8.3	14.2
取扱い規約治療前ステージ												
I期	62.4	70.1	68.4	71.8	60.8	65.6	63.6	67.7	61.8	68.3	67.0	69.7
II期	50.2	57.4	56.1	58.7	46.3	50.4	48.5	52.3	49.1	55.4	54.3	56.4
III期	27.8	31.6	30.2	33.0	27.1	29.4	27.0	31.8	27.6	31.1	29.8	32.3
IV期	8.1	9.2	8.1	10.2	7.4	8.0	6.2	9.7	7.9	8.9	8.0	9.8
不詳	22.4	25.5	21.2	29.8	16.3	18.1	12.4	23.8	20.6	23.3	19.8	26.8
観血的治療												
有	65.4	73.3	72.0	74.7	67.8	72.5	70.3	74.8	66.0	73.2	72.0	74.3
原発巣・治癒切除	67.2	75.4	74.1	76.8	69.1	73.9	71.6	76.2	67.6	75.1	73.9	76.3
原発巣・非治癒切除	40.7	45.0	39.4	50.6	49.1	53.1	42.8	63.5	42.5	46.8	41.8	51.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	54.9	59.8	51.0	68.5	56.4	59.4	43.0	75.8	55.2	59.8	52.0	67.6
無	28.2	32.4	31.6	33.3	34.6	37.7	36.5	39.0	30.2	34.1	33.4	34.8

取扱い規約治療前ステージが0期の者を若干名含む

肝内胆管がん(肝内胆管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	404	4,286	3,432	98.8	71.0
I期	264	659	308	98.8	71.2
II期	287	806	549	99.5	70.9
III期	146	232	167	97.8	71.0
IV期	404	2,410	2,249	98.7	70.6

(1) 生存状況把握割合

対象者は、4,286例で、そのうち5年以内に死亡していたのは3,432例、打ち切りが50例であった。全体として、生存状況把握割合は98.8%であった。

男性が約62%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く全体で約38%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体でI期が約15%、II期が約19%、III期が約5%、IV期が約56%と半数以上をIV期が占めた。36.9%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が45.1%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4②-1に示す。性別にみると、

表3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,650	100.0	1,636	100.0	4,286	100.0
拠点病院等	2,425	91.5	1,512	92.4	3,937	91.9
都道府県推薦病院	225	8.5	124	7.6	349	8.1
年齢						
平均年齢 (SD)	70.4(10.1)		71.9(11.0)		71.0(10.4)	
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	19	0.7	16	1.0	35	0.8
40歳代	68	2.6	39	2.4	107	2.5
50歳代	262	9.9	146	8.9	408	9.5
60歳代	794	30.0	406	24.8	1,200	28.0
70歳代	1,021	38.5	618	37.8	1,639	38.2
80歳以上	486	18.3	411	25.1	897	20.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	429	16.2	230	14.1	659	15.4
II期	524	19.8	283	17.3	806	18.8
III期	139	5.2	93	5.7	232	5.4
IV期	1,448	54.6	962	58.8	2,410	56.2
不詳	111	4.2	68	4.2	179	4.2
取扱い規約治療前ステージ						
I期	161	6.1	88	5.4	249	5.8
II期	463	17.5	234	14.3	697	16.3
III期	394	14.9	268	16.4	662	15.4
IV期	1,221	46.1	805	49.2	2,026	47.3
不詳	251	9.5	139	8.5	390	9.1
空欄	160	6.0	102	6.2	262	6.1
観血的治療						
有	991	37.4	591	36.1	1,582	36.9
原発巣・治癒切除	821	31.0	496	30.3	1,317	30.7
原発巣・非治癒切除	132	5.0	81	5.0	213	5.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	38	1.4	14	0.9	52	1.2
無	1,659	62.6	1,045	63.9	2,704	63.1
発見経緯						
がん検診	23	0.9	14	0.9	37	0.9
健康診断・人間ドック	190	7.2	112	6.8	302	7.0
他疾患経過観察中	1,242	46.9	692	42.3	1,934	45.1
その他・不明	1,195	45.1	818	50.0	2,013	47.0

取扱い規約治療前ステージが0期の者を若干名含む

(3)5年生存率

5年生存率を表3-4②-2に示す。全体として、IV期が半数以上を占めていることからネット・サバイバルは全体で約21%であった。他の部位と比較して、年代による実測生存率とネット・サバイバルの差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期ではネット・サバイバルは全体で58.2%である。観血的治療を受けたものの割合は36.9%であるが、観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは約50%であった。

表3-4②-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	19.5	21.8	20.1	23.5	18.8	20.1	18.0	22.1	19.2	21.1	19.8	22.5
拠点病院等	20.0	22.5	20.6	24.3	19.0	20.2	18.0	22.3	19.6	21.6	20.2	23.0
都道府県推薦病院	13.2	14.6	9.6	19.6	17.1	18.3	10.9	25.7	14.6	15.9	11.7	20.1
年齢												
0-39歳	21.1	-			25.0	25.1	5.4	44.7	22.9	22.9	9.5	36.4
40歳代	32.8	33.1	21.8	44.4	24.0	24.2	10.7	37.6	29.6	29.8	21.0	38.7
50歳代	23.7	24.2	18.8	29.6	25.4	25.6	18.4	32.9	24.3	24.7	20.4	29.1
60歳代	23.2	24.6	21.4	27.8	26.4	27.1	22.6	31.5	24.3	25.4	22.8	28.0
70歳代	19.3	22.1	19.3	25.0	17.6	18.7	15.5	22.0	18.7	20.9	18.7	23.0
80歳以上	9.6	13.2	9.6	16.9	10.3	12.7	9.0	16.3	9.9	13.1	10.5	15.7
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	54.6	61.3	55.9	66.7	49.1	52.2	45.2	59.3	52.7	58.2	53.9	62.5
II期	30.7	34.2	29.7	38.8	34.0	36.1	30.1	42.1	31.8	34.9	31.3	38.5
III期	23.2	26.1	18.1	34.2	33.6	35.3	24.9	45.6	27.4	29.8	23.4	36.3
IV期	4.9	5.5	4.2	6.7	6.3	6.8	5.1	8.5	5.5	6.0	5.0	7.0
不詳	12.5	14.2	7.1	21.4	6.4	-			10.2	11.6	6.5	16.8
取扱い規約治療前ステージ												
I期	55.2	61.7	52.9	70.6	57.7	61.3	50.1	72.4	56.1	61.6	54.6	68.5
II期	40.3	45.1	40.0	50.3	41.7	44.7	37.8	51.5	40.8	45.0	40.9	49.1
III期	20.6	23.1	18.5	27.7	26.7	28.2	22.4	34.0	23.0	25.1	21.5	28.7
IV期	3.6	3.9	2.7	5.0	3.9	4.1	2.7	5.5	3.7	4.0	3.1	4.9
不詳	28.4	31.9	25.5	38.3	24.2	25.9	18.1	33.7	27.0	29.8	24.8	34.8
観血的治療												
有	44.7	49.9	46.4	53.5	46.9	49.7	45.4	54.1	45.5	49.9	47.1	52.6
原発巣・治癒切除	49.8	55.6	51.7	59.5	50.9	54.0	49.2	58.7	50.2	55.0	52.0	58.0
原発巣・非治癒切除	20.0	21.9	14.3	29.5	18.8	20.3	11.0	29.5	19.6	21.4	15.5	27.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	21.6	25.7	10.8	40.7	61.5	-			32.0	35.6	21.4	49.8
無	4.1	4.7	3.6	5.9	2.9	3.2	2.1	4.3	3.7	4.1	3.3	5.0

取扱い規約治療前ステージが0期の者を若干名含む

5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

小細胞肺がん(小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	418	9,937	8,832	99.1	71.0
I期	287	764	463	98.7	72.2
II期	274	694	511	99.1	71.5
III期	396	2,670	2,219	99.1	70.0
IV期	418	5,691	5,538	99.3	71.2

(1) 生存状況把握割合

対象者は、9,937例で、そのうち5年以内に死亡していた者は、8,832例、打ち切りが85例で、全体として生存状況把握割合は99.1%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてIV期が57.3%、次いでIII期が26.9%であった。病期分布に男女差はほとんどなく、若干女性でIII期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、9%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約31%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5①-1に示す。対象者は、男性が81.5%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	8,098	100.0	1,839	100.0	9,937	100.0
拠点病院等	7,375	91.1	1,659	90.2	9,034	90.9
都道府県推薦病院	723	8.9	180	9.8	903	9.1
年齢						
平均年齢 (SD)	71.0 (8.6)		70.9 (8.8)		71.0 (8.6)	
0-14歳	(1-3)		0		(1-3)	
15-39歳	(7-9)		(4-6)		15	0.2
40歳代	90	1.1	28	1.5	118	1.2
50歳代	600	7.4	130	7.1	730	7.3
60歳代	2,688	33.2	605	32.9	3,293	33.1
70歳代	3,362	41.5	770	41.9	4,132	41.6
80歳以上	1,348	16.6	300	16.3	1,648	16.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	659	8.1	105	5.7	764	7.7
II期	571	7.1	123	6.7	694	7.0
III期	2,137	26.4	533	29.0	2,670	26.9
IV期	4,634	57.2	1,057	57.5	5,691	57.3
不詳	97	1.2	21	1.1	118	1.2
観血的治療						
有	757	9.3	133	7.2	890	9.0
原発巣・治癒切除	674	8.3	120	6.5	794	8.0
原発巣・非治癒切除	54	0.7	11	0.6	65	0.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	29	0.4	2	0.1	31	0.3
無	7,341	90.7	1,706	92.8	9,047	91.0
発見経緯						
がん検診	343	4.2	45	2.4	388	3.9
健康診断・人間ドック	704	8.7	111	6.0	815	8.2
他疾患経過観察中	2,539	31.4	520	28.3	3,059	30.8
その他・不明	4,512	55.7	1,163	63.2	5,675	57.1

(3)5年生存率

5年生存率を表3-5①-2に示す。全体での5年ネット・サバイバルは、IV期が半数以上を占めることから低く約12%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期ではネット・サバイバルが43.2%であった。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、ネット・サバイバルは42.7%であった。

表3-5①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	9.9	10.9	10.2	11.6	13.5	14.2	12.5	15.8	10.6	11.5	10.8	12.2
拠点病院等	10.1	11.1	10.4	11.9	13.6	14.2	12.5	16.0	10.8	11.7	11.0	12.4
都道府県推薦病院	7.4	8.3	6.1	10.5	12.9	13.3	8.2	18.5	8.5	9.3	7.2	11.3
年齢												
0-39歳	30.0	-			50.0	50.2	14.7	85.6	37.5	37.6	15.1	60.1
40歳代	18.0	18.2	10.3	26.1	25.0	25.1	9.7	40.5	19.7	19.9	12.7	27.0
50歳代	18.1	18.6	15.4	21.7	21.8	22.0	14.9	29.2	18.8	19.2	16.3	22.1
60歳代	12.7	13.4	12.1	14.8	15.3	15.7	12.7	18.6	13.2	13.9	12.6	15.1
70歳代	8.6	9.8	8.7	10.9	13.0	13.7	11.2	16.3	9.5	10.5	9.5	11.6
80歳以上	3.1	4.4	3.1	5.8	5.7	6.8	3.7	9.9	3.6	4.9	3.6	6.1
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	36.6	41.0	36.7	45.3	53.3	56.8	46.7	66.9	38.9	43.2	39.2	47.2
II期	24.1	26.6	22.7	30.6	35.5	37.4	28.5	46.4	26.1	28.5	24.9	32.1
III期	15.3	16.7	15.0	18.4	20.2	20.9	17.3	24.5	16.3	17.5	16.0	19.1
IV期	1.7	1.9	1.4	2.3	3.5	3.7	2.5	4.8	2.0	2.2	1.8	2.6
不詳	12.9	14.4	6.9	21.8	14.3	-			13.2	14.5	7.8	21.2
観血的治療												
有	35.6	39.6	35.7	43.5	57.1	60.4	51.5	69.2	38.9	42.7	39.1	46.3
原発巣・治癒切除	37.9	42.1	38.0	46.3	61.7	65.0	55.9	74.2	41.5	45.7	41.8	49.5
原発巣・非治癒切除	17.0	18.1	7.6	28.6	18.2	18.7	0.0	39.1	17.2	18.3	8.7	27.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	17.2	-			-	-			16.1	-		
無	7.2	7.9	7.2	8.6	10.0	10.5	9.0	12.0	7.7	8.4	7.8	9.0

非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	442	106,783	60,252	98.6	71.1
I期	435	45,087	11,402	98.5	71.0
II期	422	9,408	4,881	98.4	71.6
III期	436	17,496	12,457	98.7	70.3
IV期	442	33,083	30,011	98.8	71.1

(1) 生存状況把握割合

対象者は、106,783例で、そのうち5年以内に死亡していた者は、60,252例、打ち切りが1,479例で、全体として生存状況把握割合は98.6%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5②-1に示す。対象者は、男性が66.4%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてI期が約42%、次いでIV期が約31%であった。病期分布に女性でI期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、小細胞肺癌と比較して多く、48.3%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が42.1%であった。

表3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	70,858	100.0	35,925	100.0	106,783	100.0
拠点病院等	64,900	91.6	33,085	92.1	97,985	91.8
都道府県推薦病院	5,958	8.4	2,840	7.9	8,798	8.2
年齢						
平均年齢 (SD)	71.3 (9.7)		70.7 (10.6)		71.1 (10.1)	
0-14歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39歳	329	0.5	320	0.9	649	0.6
40歳代	1,512	2.1	1,113	3.1	2,625	2.5
50歳代	5,527	7.8	3,301	9.2	8,828	8.3
60歳代	21,316	30.1	10,446	29.1	31,762	29.7
70歳代	27,660	39.0	13,354	37.2	41,014	38.4
80歳以上	14,512	20.5	7,390	20.6	21,902	20.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	26,463	37.3	18,624	51.8	45,087	42.2
II期	7,113	10.0	2,295	6.4	9,408	8.8
III期	13,350	18.8	4,146	11.5	17,496	16.4
IV期	22,692	32.0	10,391	28.9	33,083	31.0
不詳	1,240	1.7	469	1.3	1,709	1.6
観血的治療						
有	31,242	44.1	20,362	56.7	51,604	48.3
原発巣・治癒切除	29,287	41.3	19,513	54.3	48,800	45.7
原発巣・非治癒切除	1,480	2.1	633	1.8	2,113	2.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	475	0.7	216	0.6	691	0.6
無	39,616	55.9	15,563	43.3	55,179	51.7
発見経緯						
がん検診	4,357	6.1	3,126	8.7	7,483	7.0
健康診断・人間ドック	8,640	12.2	4,847	13.5	13,487	12.6
他疾患経過観察中	29,733	42.0	15,250	42.4	44,983	42.1
その他・不明	28,128	39.7	12,702	35.4	40,830	39.2

(3)5年生存率

5年生存率を表3-5②-2に示す。全体での5年ネット・サバイバルは、男性が40.6%、女性が61.0%と女性でやや高かった。UICC TNM分類総合ステージ別にみても、やや男性より女性でネット・サバイバルが高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)ではネット・サバイバルは全体で82.9%であった。

表3-5②-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	36.0	40.6	40.2 41.0	57.5	61.0	60.4 61.5	43.2	47.5	47.2 47.8
拠点病院等	36.7	41.4	41.0 41.8	58.2	61.7	61.2 62.3	44.0	48.3	47.9 48.6
都道府県推薦病院	28.3	32.1	30.8 33.5	48.8	52.1	50.1 54.2	34.9	38.6	37.5 39.8
年齢									
0-39歳	53.9	54.1	48.7 59.6	66.9	67.1	61.9 72.3	60.3	60.5	56.7 64.3
40歳代	51.4	51.9	49.3 54.4	68.3	68.6	65.9 71.4	58.6	59.0	57.1 60.9
50歳代	50.0	51.3	49.9 52.6	69.8	70.6	69.1 72.2	57.5	58.5	57.5 59.6
60歳代	43.6	46.3	45.6 47.0	66.4	68.1	67.2 69.0	51.1	53.5	52.9 54.0
70歳代	35.6	40.8	40.2 41.5	59.2	62.9	62.0 63.8	43.4	48.0	47.5 48.6
80歳以上	18.2	26.4	25.5 27.4	34.0	41.5	40.2 42.9	23.5	31.5	30.7 32.3
UICC TNM分類総合ステージ									
I期	66.2	75.4	74.7 76.1	86.4	91.9	91.3 92.4	74.6	82.2	81.7 82.7
II期	44.1	49.4	48.1 50.8	58.7	62.5	60.3 64.7	47.7	52.6	51.5 53.8
III期	24.5	26.7	25.9 27.5	40.2	42.2	40.6 43.8	28.2	30.4	29.6 31.1
IV期	6.1	6.7	6.4 7.1	13.3	13.9	13.2 14.6	8.4	9.0	8.7 9.3
不詳	8.3	10.3	8.3 12.3	19.1	21.8	17.4 26.1	11.3	13.4	11.5 15.3
観血的治療									
有	66.9	74.9	74.3 75.5	85.8	90.5	90.0 91.0	74.3	81.1	80.7 81.5
原発巣・治癒切除	68.7	77.1	76.4 77.7	86.9	91.7	91.2 92.2	76.0	82.9	82.5 83.3
原発巣・非治癒切除	35.8	39.4	36.6 42.2	55.7	58.6	54.5 62.7	41.8	45.2	42.9 47.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	46.2	51.8	46.8 56.9	75.0	79.1	72.9 85.2	55.3	60.4	56.3 64.5
無	11.4	13.3	13.0 13.7	20.0	21.8	21.1 22.5	13.8	15.7	15.4 16.1

6. 女性乳がん(女性乳癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	440	85,403	10,108	98.4	60.3
I 期	437	38,996	1,843	98.4	60.2
II 期	440	30,931	2,800	98.3	60.0
III 期	436	10,127	2,278	98.4	60.8
IV 期	425	4,941	3,003	98.3	60.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、85,403 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 10,108 例、打ち切りが 1,398 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 98.4%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-6-1 に示す。診断時の年齢をみると、60 歳代が最も多かった。また、35 歳未満は、1,454 例であった(1.7%)。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が最も多く約 46%であった。観血的治療の実施割合は、約 88%であった。発見経緯を見ると、大腸や肺と比較してがん検診がやや多かった。

(3) 5 年生存率

5 年生存率を表 3-6-2 に示す。全体として、ネット・サブバイバルは 91.6%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が 98.9%、II 期が 94.6%、III 期が 80.6%、IV 期が 39.8%であった。観血的治療実施を受けた者では、全体で 96.3%であった。

表 3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	85,304	100.0
拠点病院等	78,384	91.9
都道府県推薦病院	7,019	8.2
年齢		
平均年齢 (SD)	60.3 (13.9)	
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	4,484	5.3
40 歳代	18,422	21.6
50 歳代	17,341	20.3
60 歳代	21,639	25.4
70 歳代	15,752	18.5
80 歳以上	7,765	9.1
35 歳未満 (再掲)	1,454	1.7
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	38,996	45.7
II 期	30,931	36.3
III 期	10,127	11.9
IV 期	4,941	5.8
不詳	408	0.5
観血的治療		
有	75,248	88.2
原発巣・治癒切除	70,169	82.3
原発巣・非治癒切除	3,685	4.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	1,394	1.6
無	10,155	11.9
発見経緯		
がん検診	17,436	20.4
健康診断・人間ドック	4,599	5.4
他疾患経過観察中	12,305	14.4
その他・不明	51,063	59.9

表 3-6-2 属性別 5 年相対生存率

	実測	Net	95%信頼区間	
全体	88.1	91.6	91.4	91.9
拠点病院等	88.2	91.7	91.4	91.9
都道府県推薦病院	86.7	90.7	89.9	91.6
年齢				
0-39 歳	90.1	90.3	89.5	91.2
40 歳代	94.3	94.8	94.5	95.2
50 歳代	91.2	92.2	91.8	92.6
60 歳代	89.8	92.0	91.5	92.4
70 歳代	85.6	90.9	90.3	91.5
80 歳以上	65.2	83.9	82.4	85.3
35 歳未満 (再掲)	87.0	87.2	85.4	88.9
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	95.2	98.9	98.7	99.2
II 期	90.9	94.6	94.3	95.0
III 期	77.3	80.6	79.7	81.5
IV 期	38.6	39.8	38.4	41.3
不詳	54.3	59.7	53.8	65.6
観血的治療				
有	92.9	96.3	96.1	96.5
原発巣・治癒切除	93.3	96.8	96.6	97.0
原発巣・非治癒切除	86.5	89.5	88.3	90.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	87.9	91.9	90.0	93.8
無	52.2	56.5	55.4	57.6

7. 食道がん(食道癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	423	29,513	16,589	98.5	69.4
I期	423	12,204	3,549	98.2	69.5
II期	391	3,507	1,929	98.6	69.8
III期	423	8,282	6,155	98.9	69.2
IV期	414	4,889	4,453	98.9	68.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、29,513例で、5年以内に亡くなっていたのが16,589例、打ち切りが432例であった。全体として生存状況把握割合は98.5%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-7-1に示す。集計対象のうち男性が約85%、女性が約15%であった。年齢分布をみる

と、60歳代が34.7%、70歳代が37.3%と多かった。UICC TNM分類総合ステージをみると、I期が最も多く約41%、次いでIII期が約28%、IV期が約17%、II期が約12%であった。観血的治療の実施割合は全体で約52%であり、約46%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約29%であった。

表3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	25,038	100.0	4,475	100.0	29,513	100.0
拠点病院等	23,802	95.1	4,268	95.4	28,070	95.1
都道府県推薦病院	1,236	4.9	207	4.6	1,443	4.9
年齢						
平均年齢 (SD)	69.5 (9.1)		68.8 (11.1)		69.4 (9.4)	
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	36	0.1	26	0.6	62	0.2
40歳代	492	2.0	201	4.5	693	2.3
50歳代	2,722	10.9	631	14.1	3,353	11.4
60歳代	8,835	35.3	1,411	31.5	10,246	34.7
70歳代	9,567	38.2	1,438	32.1	11,005	37.3
80歳以上	3,386	13.5	768	17.2	4,154	14.1
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	10,476	41.8	1,728	38.6	12,204	41.4
II期	2,914	11.6	593	13.3	3,507	11.9
III期	6,980	27.9	1,302	29.1	8,282	28.1
IV期	4,147	16.6	742	16.6	4,889	16.6
不詳	521	2.1	110	2.5	631	2.1
観血的治療						
有	12,907	51.5	2,379	53.2	15,286	51.8
原発巣・治癒切除	11,518	46.0	2,162	48.3	13,680	46.4
原発巣・非治癒切除	1,071	4.3	170	3.8	1,241	4.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	318	1.3	47	1.1	365	1.2
無	12,131	48.5	2,096	46.8	14,227	48.2
発見経緯						
がん検診	946	3.8	140	3.1	1,086	3.7
健康診断・人間ドック	2,361	9.4	284	6.3	2,645	9.0
他疾患経過観察中	7,396	29.5	1,026	22.9	8,422	28.5
その他・不明	14,335	57.3	3,025	67.6	17,360	58.8

(3)5年生存率

5年生存率を表3-7-2に示す。全体でのネット・サバイバルは、47.8%であり、男性が47.0%、女性が52.4%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、5年ネット・サバイバルはⅠ期が約78%、Ⅱ期が約49%、Ⅲ期が約27%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、約73%であり、原発巣・治癒切除例のネット・サバイバルは約76%であった。

表3-7-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	42.2	47.0	46.3	47.7	49.7	52.4	50.8	53.9	43.4	47.8	47.2	48.5
拠点病院等	42.7	47.5	46.8	48.2	50.3	53.0	51.3	54.6	43.8	48.3	47.7	49.0
都道府県推薦病院	33.6	38.0	35.0	41.1	38.0	40.1	33.0	47.2	34.2	38.3	35.5	41.2
年齢												
0-39歳	31.9	32.1	17.0	47.2	46.2	-			37.9	38.0	25.9	50.0
40歳代	51.4	51.9	47.4	56.4	59.9	60.2	53.4	67.0	53.9	54.4	50.6	58.1
50歳代	51.2	52.5	50.5	54.4	58.7	59.4	55.5	63.3	52.6	53.8	52.0	55.5
60歳代	46.9	49.7	48.6	50.9	55.5	56.9	54.2	59.6	48.1	50.7	49.7	51.8
70歳代	41.6	47.5	46.4	48.6	50.3	53.4	50.6	56.1	42.7	48.3	47.2	49.3
80歳以上	23.2	33.5	31.4	35.6	27.6	34.2	30.1	38.2	24.0	33.6	31.7	35.5
UICC TNM 分類総合ステージ												
Ⅰ期	69.4	77.7	76.7	78.8	78.0	82.6	80.4	84.7	70.6	78.4	77.5	79.3
Ⅱ期	43.0	47.6	45.6	49.6	52.8	55.4	51.0	59.7	44.7	48.9	47.0	50.8
Ⅲ期	23.3	25.6	24.4	26.7	35.6	37.1	34.4	39.9	25.3	27.4	26.3	28.4
Ⅳ期	7.6	8.2	7.3	9.1	11.2	11.6	9.2	14.0	8.1	8.7	7.9	9.6
不詳	19.7	22.4	18.3	26.5	16.7	17.9	10.2	25.6	19.2	21.6	18.0	25.2
観血的治療												
有	65.5	72.5	71.5	73.4	72.9	76.5	74.6	78.4	66.6	73.1	72.3	73.9
原発巣・治癒切除	67.9	75.1	74.1	76.0	75.0	78.7	76.7	80.6	69.0	75.6	74.8	76.5
原発巣・非治癒切除	43.9	48.8	45.5	52.2	49.8	52.2	44.1	60.2	44.7	49.3	46.1	53.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	52.6	58.2	52.0	64.4	57.5	-			53.3	58.5	52.8	64.2
無	17.3	19.7	18.9	20.5	22.9	24.5	22.5	26.5	18.1	20.4	19.7	21.1

8. 膵臓がん(膵臓癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	442	33,557	29,372	99.0	71.1
I 期	407	2,611	1,316	99.0	71.5
II 期	435	10,065	7,907	98.9	71.4
III 期	422	4,423	4,128	99.0	70.7
IV 期	442	15,539	15,172	99.1	70.7

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、33,557 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 29,372 例、打ち切りが 342 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は 99.0%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-8-1 に示す。集計対象者は、男性が約 55%、女性が約 45%であった。診断時の年齢分

布は、70 歳代が 36.0%と最も多く、次いで 60 歳代が 29.0%、80 歳以上が 22.3%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、IV 期が最も多く 46.3%、次いで II 期が 30.0%、III 期が 13.2%であった。観血的治療の実施割合は全体で 29.1%であり、24.2%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 30%であった。

表 3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	18,551	100.0	15,006	100.0	33,557	100.0
拠点病院等	16,960	91.4	13,610	90.7	30,570	91.1
都道府県推薦病院	1,591	8.6	1,396	9.3	2,987	8.9
年齢						
平均年齢 (SD)	70.0 (10.4)		72.5 (10.7)		71.1 (10.6)	
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
15-39 歳	118	0.6	82	0.5	200	0.6
40 歳代	592	3.2	367	2.4	959	2.9
50 歳代	1,914	10.3	1,187	7.9	3,101	9.2
60 歳代	5,893	31.8	3,834	25.5	9,727	29.0
70 歳代	6,633	35.8	5,463	36.4	12,096	36.0
80 歳以上	3,398	18.3	4,071	27.1	7,469	22.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	1,358	7.3	1,253	8.3	2,611	7.8
II 期	5,555	29.9	4,510	30.1	10,065	30.0
III 期	2,416	13.0	2,007	13.4	4,423	13.2
IV 期	8,739	47.1	6,800	45.3	15,539	46.3
不詳	483	2.6	436	2.9	919	2.7
観血的治療						
有	5,458	29.4	4,309	28.7	9,767	29.1
原発巣・治癒切除	4,474	24.1	3,653	24.3	8,127	24.2
原発巣・非治癒切除	807	4.4	536	3.6	1,343	4.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	177	1.0	120	0.8	297	0.9
無	13,093	70.6	10,697	71.3	23,790	70.9
発見経緯						
がん検診	102	0.5	92	0.6	194	0.6
健康診断・人間ドック	931	5.0	623	4.2	1,554	4.6
他疾患経過観察中	5,863	31.6	4,264	28.4	10,127	30.2
その他・不明	11,655	62.8	10,027	66.8	21,682	64.6

(3)5年生存率

5年生存率を表3-8-2に示す。5年ネット・サバイバルは、全体で約13%であった。肝や肺と同様、実測生存率とネット・サバイバルの差は他の部位と比較して小さく、予後があまり良くないがんと考えられる。年代別にみても、実測生存率、ネット・サバイバルはほぼ同程度であった。但し、0-39歳では対象者数がやや少なく95%信頼区間の幅が広がっている点に留意する必要がある。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、ネット・サバイバルはI期が約53%、II期が約23%、III期が約6%、IV期が約2%であった。観血治療を受けた者のネット・サバイバルは約38%であり、原発巣・治癒切除例のみをみてもネット・サバイバルは約42%にとどまった。

表3-8-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	11.4	12.6	12.1	13.1	12.2	12.9	12.3	13.5	11.8	12.7	12.3	13.1
拠点病院等	11.5	12.7	12.2	13.2	12.7	13.3	12.7	13.9	12.0	13.0	12.6	13.4
都道府県推薦病院	10.3	11.4	9.7	13.1	8.2	8.7	7.1	10.2	9.3	10.1	9.0	11.3
年齢												
0-39歳	39.3	39.4	30.7	48.1	52.0	52.1	41.4	62.7	44.5	44.6	37.7	51.4
40歳代	20.9	21.1	17.8	24.4	26.4	26.5	21.9	31.0	23.0	23.2	20.5	25.9
50歳代	14.1	14.5	12.8	16.1	19.1	19.3	17.0	21.6	16.0	16.3	15.0	17.6
60歳代	13.9	14.7	13.8	15.7	16.2	16.6	15.4	17.8	14.8	15.5	14.7	16.2
70歳代	10.8	12.4	11.5	13.2	12.2	13.0	12.1	13.9	11.4	12.7	12.0	13.3
80歳以上	4.0	5.8	4.9	6.8	4.4	5.4	4.6	6.1	4.2	5.6	4.6	6.2
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	47.4	52.5	49.5	55.6	51.6	54.3	51.3	57.3	49.4	53.4	51.2	55.6
II期	20.9	23.1	21.8	24.3	20.6	21.8	20.5	23.1	20.8	22.5	21.6	23.4
III期	5.6	6.1	5.1	7.2	6.1	6.4	5.3	7.5	5.8	6.2	5.5	7.0
IV期	1.5	1.7	1.4	2.0	1.4	1.5	1.2	1.8	1.5	1.6	1.4	1.8
不詳	6.2	7.4	4.8	9.9	7.6	8.1	5.4	10.9	6.8	7.7	5.8	9.6
観血的治療												
有	33.3	36.7	35.3	38.1	36.7	38.6	37.1	40.1	34.8	37.5	36.5	38.5
原発巣・治癒切除	37.6	41.4	39.8	43.0	39.5	41.6	39.9	43.3	38.5	41.5	40.3	42.7
原発巣・非治癒切除	11.7	12.7	10.3	15.2	17.1	17.9	14.5	21.2	13.8	14.8	12.8	16.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	22.8	25.2	18.4	32.1	37.2	39.0	29.9	48.2	28.6	30.8	25.2	36.4
無	2.2	2.4	2.2	2.7	2.3	2.4	2.1	2.7	2.2	2.4	2.2	2.6

9. 子宮頸がん(子宮頸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	369	14,454	3,906	97.3	54.7
I 期	369	6,427	424	96.4	48.9
II 期	303	2,355	548	98.2	60.6
III 期	313	3,359	1,255	97.7	57.6
IV 期	323	2,171	1,609	98.5	60.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、14,454 例で、5 年以内に亡くなっていたのは 3,906 例、打ち切りが 390 例であった。集計対象全体の生存状況把握割合は 97.3 %であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-9-1 に示す。診断時の年齢を見ると、40 歳代、15~39 歳と比較的若い年代が多かった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 45%と最も多く、次いでIII期が約 23%、II 期が約 16%であった。観血的治療の実施割合は約 57%であった。発見経緯を見ると、がん検診が 15.0%であった。

(3) 5 年生存率

5 年生存率を表 3-9-2 に示す。全体として、実測生存率が約 73%、ネット・サバイバルが約 74%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、I 期が約 95%、II 期が約 79%、III期が約 64%、IV期が約 26%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは約 91%であり、そのうち、原発巣・治癒切除例では約 93%であった。

表 3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	14,454	100.0
拠点病院等	13,789	95.4
都道府県推薦病院	665	4.6
年齢		
平均年齢 (SD)	54.7 (16.0)	
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	2,849	19.7
40 歳代	3,447	23.8
50 歳代	2,553	17.7
60 歳代	2,603	18.0
70 歳代	1,825	12.6
80 歳以上	1,177	8.1
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	6,427	44.5
II 期	2,355	16.3
III 期	3,359	23.2
IV 期	2,171	15.0
不詳	142	1.0
観血的治療		
有	8,186	56.6
原発巣・治癒切除	7,264	50.3
原発巣・非治癒切除	693	4.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	229	1.6
無	6,268	43.4
発見経緯		
がん検診	2,169	15.0
健康診断・人間ドック	481	3.3
他疾患経過観察中	1,747	12.1
その他・不明	10,057	69.6

表 3-9-2 属性別 5 年生存率

	実測	Net	95%信頼区間	
全体	72.7	74.4	73.6	75.1
拠点病院等	72.6	74.3	73.5	75.1
都道府県推薦病院	75.4	76.8	73.0	80.6
年齢				
0-39 歳	87.9	88.0	86.8	89.3
40 歳代	81.1	81.4	80.1	82.8
50 歳代	74.0	74.8	73.1	76.6
60 歳代	72.3	74.0	72.2	75.8
70 歳代	58.0	61.6	59.1	64.0
80 歳以上	31.4	39.9	36.3	43.4
UICC TNM 分類総合ステージ				
I 期	93.3	94.9	94.2	95.6
II 期	76.5	79.4	77.5	81.3
III 期	62.2	64.0	62.2	65.7
IV 期	25.1	25.9	23.9	27.8
不詳	50.7	51.6	42.2	61.1
観血的治療				
有	89.9	90.9	90.2	91.6
原発巣・治癒切除	91.6	92.7	92.0	93.3
原発巣・非治癒切除	74.0	75.1	71.6	78.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	81.6	82.6	77.4	87.8
無	50.2	52.8	51.4	54.1

10. 子宮体がん(子宮体癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	383	18,312	3,520	98.5	60.2
I期	383	12,723	1,001	98.4	59.5
II期	285	1,136	172	98.2	59.8
III期	343	2,417	863	98.6	61.1
IV期	342	1,695	1,330	98.9	63.3

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、18,312例で、5年以内に亡くなっていたのが3,520例、打ち切りが278例であった。集計対象全体として、生存状況把握割合は98.5%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-10-1に示す。診断時の年齢を見ると、50歳代が約3割と最も多く、次いで60歳代が約27%、70歳代が約17%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が69.5%、II期が6.2%、III期が13.2%、IV期が9.3%であった。観血的治療の実施割合は、約91%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が16.2%であった。

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-10-2に示す。全体での5年実測生存率は約81%、ネット・サバイバルが約83%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、I期が約95%、II期が約88%、III期が約66%、IV期が約22%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、約88%であり、原発巣・治癒切除例では91.5%であった。

表3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	18,312	100.0
拠点病院等	17,243	94.2
都道府県推薦病院	1,069	5.8
年齢		
平均年齢 (SD)	60.2 (12.5)	
0-14歳	0	0.0
15-39歳	830	4.5
40歳代	2,764	15.1
50歳代	5,461	29.8
60歳代	4,967	27.1
70歳代	3,039	16.6
80歳以上	1,251	6.8
UICC TNM分類総合ステージ		
I期	12,723	69.5
II期	1,136	6.2
III期	2,417	13.2
IV期	1,695	9.3
不詳	341	1.9
観血的治療		
有	16,611	90.7
原発巣・治癒切除	15,215	83.1
原発巣・非治癒切除	878	4.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	518	2.8
無	1,701	9.3
発見経緯		
がん検診	1,201	6.6
健康診断・人間ドック	395	2.2
他疾患経過観察中	2,967	16.2
その他・不明	13,749	75.1

表3-10-2 属性別5年生存率

	実測	Net	95%信頼区間	
全体	80.6	83.0	82.4	83.6
拠点病院等	80.7	83.0	82.4	83.7
都道府県推薦病院	79.4	81.7	79.0	84.4
年齢				
0-39歳	93.5	93.7	92.0	95.4
40歳代	91.2	91.7	90.6	92.7
50歳代	88.2	89.2	88.3	90.1
60歳代	79.6	81.4	80.3	82.6
70歳代	69.7	74.0	72.2	75.7
80歳以上	46.3	57.2	53.6	60.7
UICC TNM分類総合ステージ				
I期	92.1	94.7	94.2	95.3
II期	84.8	87.6	85.3	89.8
III期	64.0	65.7	63.7	67.7
IV期	21.0	21.5	19.5	23.5
不詳	54.6	56.2	50.5	61.9
観血的治療				
有	85.9	88.3	87.7	88.8
原発巣・治癒切除	89.0	91.5	91.0	92.0
原発巣・非治癒切除	37.6	38.6	35.3	42.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	75.3	77.8	74.0	81.7
無	29.3	30.8	28.4	33.1

11. 前立腺がん(前立腺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	429	78,332	12,993	98.3	71.7
I 期	429	30,217	3,142	98.2	71.6
II 期	418	22,950	2,013	98.2	70.3
III 期	415	11,917	1,605	98.5	71.5
IV 期	426	11,649	5,645	98.5	74.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、78,332 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 12,993 例、打ち切りが 1,355 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は 98.3%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-11-1 に示す。診断時の年齢は、70 歳代が約 46%、80 歳以上が約 16%で、70 歳以上が 6 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が最も多く約 39%であった。観血的治療の実施割合は、約 32%であった。発見経緯を見ると、がん検診が 17.0%、健康診断・人間ドックが 11.4%であった。

(3) 5 年生存率

5 年生存率を表 3-11-2 に示す。全体として、5 年実測生存率は、約 83%、ネット・サバイバルが約 95%であった。年代が高くなるほど、実測生存率とネット・サバイバルの差が大きくなり、高齢になるほど前立腺がん以外の要因で死亡させている例が多いと考えられた。5 年ネット・サバイバルは、80 歳以上を除く各年代は 90%以上と高い。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I 期と II 期では、ネット・サバイバルは 100%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、治癒切除、非治癒切除例に関わらずほぼ 100%であった。

表 3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	78,332	100.0
拠点病院等	71,614	91.4
都道府県推薦病院	6,718	8.6
年齢		
平均年齢 (SD)	71.7(7.8)	
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	(4-6)	
40 歳代	217	0.3
50 歳代	4,230	5.4
60 歳代	25,596	32.7
70 歳代	35,823	45.7
80 歳以上	12,461	15.9
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	30,217	38.6
II 期	22,950	29.3
III 期	11,917	15.2
IV 期	11,649	14.9
不詳	1,599	2.0
観血的治療		
有	25,221	32.2
原発巣・治癒切除	20,712	26.4
原発巣・非治癒切除	3,692	4.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	817	1.0
無	53,111	67.8
発見経緯		
がん検診	13,350	17.0
健康診断・人間ドック	8,934	11.4
他疾患経過観察中	31,599	40.3
その他・不明	24,449	31.2

表 3-11-2 属性別 5 年生存率

	実測	Net	95%信頼区間	
全体	83.3	95.1	94.8	95.4
拠点病院等	83.6	95.3	95.0	95.6
都道府県推薦病院	79.6	93.1	91.8	94.3
年齢				
0-39 歳	-	-		
40 歳代	89.9	90.9	87.8	95.0
50 歳代	94.1	96.5	95.8	97.2
60 歳代	92.2	98.0	97.7	98.4
70 歳代	84.8	97.0	96.6	97.5
80 歳以上	56.8	83.2	81.8	84.6
UICC TNM 分類総合ステージ				
I 期	89.6	100.0	100.0	100.0
II 期	91.1	100.0	100.0	100.0
III 期	86.4	98.5	97.7	99.3
IV 期	51.1	60.1	59.0	61.3
不詳	62.7	77.9	74.5	81.2
観血的治療				
有	95.1	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒切除	95.6	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治癒切除	94.2	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	88.0	98.7	96.0	100.0
無	77.7	91.2	90.8	91.7

12. 膀胱がん(膀胱癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	412	18,108	8,240	98.3	74.0
I 期	412	9,792	2,861	98.2	73.4
II 期	398	3,546	1,877	98.4	75.3
III 期	372	1,798	1,150	98.6	74.6
IV 期	391	2,262	1,872	99.2	72.6

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、18,108 例で、5 年以内に亡くなっていた者が 8,240 例、打ち切りが 300 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は 98.3%であった。

男性が約 77%、女性が約 23%であった。診断時の年齢分布をみると、70 歳代が最も多く約 35%、80 歳以上が約 34%、6 割以上が 70 歳以上であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 54%と半数以上を占めた。観血的治療の実施割合は、85.5%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が 24.1%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-12-1 に示す。性別でみると、

表 3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	13,931	100.0	4,177	100.0	18,108	100.0
拠点病院等	12,624	90.6	3,767	90.2	16,391	90.5
都道府県推薦病院	1,307	9.4	410	9.8	1,717	9.5
年齢						
平均年齢 (SD)	73.3 (10.3)		76.2 (10.8)		74.0 (10.5)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	55	0.4	21	0.5	76	0.4
40 歳代	219	1.6	63	1.5	282	1.6
50 歳代	994	7.1	219	5.2	1,213	6.7
60 歳代	3,464	24.9	711	17.0	4,175	23.1
70 歳代	4,967	35.7	1,318	31.6	6,285	34.7
80 歳以上	4,232	30.4	1,845	44.2	6,077	33.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	7,843	56.3	1,949	46.7	9,792	54.1
II 期	2,666	19.1	880	21.1	3,546	19.6
III 期	1,252	9.0	546	13.1	1,798	9.9
IV 期	1,668	12.0	594	14.2	2,262	12.5
不詳	502	3.6	208	5.0	710	3.9
観血的治療						
有	12,094	86.8	3,394	81.3	15,488	85.5
原発巣・治癒切除	9,079	65.2	2,415	57.8	11,494	63.5
原発巣・非治癒切除	1,636	11.7	575	13.8	2,211	12.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	1,379	9.9	404	9.7	1,783	9.8
無	1,837	13.2	783	18.7	2,620	14.5
発見経緯						
がん検診	76	0.5	21	0.5	97	0.5
健康診断・人間ドック	417	3.0	83	2.0	500	2.8
他疾患経過観察中	3,412	24.5	949	22.7	4,361	24.1
その他・不明	10,026	72.0	3,124	74.8	13,150	72.6

(3)5年生存率

5年生存率を表3-12-2に示す。全体の5年実測生存率は約54%、ネット・サバイバルが約63%であった。70歳代以上では、実測生存率とネット・サバイバルの差がやや大きくなっていった。年代別にみたネット・サバイバルは、全体としては70歳代で66.2%であるが、80歳以上では46.0%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、全体でⅠ期が約82%、Ⅱ期が約54%、Ⅲ期が約40%、Ⅳ期が約18%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは70.3%で、そのうち原発巣・治癒切除例では76.3%であった。

表3-12-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	55.6	64.9	63.9	66.0	49.1	54.9	53.0	56.7	54.1	62.6	61.7	63.5
拠点病院等	55.3	64.5	63.4	65.6	49.0	54.7	52.8	56.6	53.8	62.2	61.3	63.2
都道府県推薦病院	58.8	69.7	66.2	73.2	50.7	56.0	50.1	61.8	56.9	66.4	63.4	69.4
年齢												
0-39歳	77.0	77.3	66.0	88.7	61.9	62.1	41.9	82.2	72.7	73.0	62.8	83.1
40歳代	78.6	79.3	73.7	84.8	66.7	-			75.9	76.5	71.4	81.6
50歳代	79.0	81.0	78.4	83.6	75.2	76.0	70.2	81.9	78.4	80.1	77.7	82.5
60歳代	71.6	76.0	74.4	77.6	69.4	71.1	67.6	74.6	71.2	75.2	73.7	76.6
70歳代	58.7	67.5	65.9	69.0	57.4	61.3	58.4	64.2	58.4	66.2	64.8	67.6
80歳以上	31.8	48.2	45.9	50.5	31.4	40.8	37.9	43.7	31.7	46.0	44.1	47.8
UICC TNM分類総合ステージ												
Ⅰ期	70.3	82.4	81.0	83.7	71.4	80.3	77.8	82.8	70.5	82.0	80.8	83.1
Ⅱ期	48.0	56.2	53.8	58.6	42.3	46.9	43.0	50.7	46.6	53.9	51.8	55.9
Ⅲ期	37.7	42.9	39.6	46.1	31.2	34.0	29.7	38.4	35.7	40.2	37.6	42.9
Ⅳ期	18.7	20.7	18.6	22.9	10.8	11.4	8.7	14.1	16.6	18.3	16.5	20.0
不詳	33.9	40.9	35.4	46.4	25.9	28.6	21.5	35.6	31.6	37.3	32.9	41.8
観血的治療												
有	61.5	71.7	70.6	72.8	58.3	65.1	63.1	67.0	60.8	70.3	69.3	71.2
原発巣・治癒切除	66.3	77.1	75.8	78.3	66.0	73.6	71.3	75.9	66.3	76.3	75.3	77.4
原発巣・非治癒切除	37.9	45.2	42.2	48.2	29.0	32.3	28.0	36.7	35.6	41.8	39.3	44.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	57.4	67.9	64.5	71.2	54.5	60.3	54.4	66.2	56.8	66.2	63.3	69.1
無	16.7	20.0	17.8	22.3	8.9	10.1	7.7	12.5	14.4	17.1	15.4	18.8

13. 喉頭がん(喉頭癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	335	7,354	2,236	98.0	70.6
I 期	335	3,093	546	97.9	70.5
II 期	302	1,726	452	98.0	70.5
III 期	251	1,106	422	97.9	71.0
IV 期	270	1,339	772	98.4	70.4

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、7,354 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 2,236 例、打ち切りが 148 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.0%であった。

男性が約 93%、女性が約 7%であった。診断時の年齢分布をみると、70 歳代・60 歳代で約 7 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 42%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 28%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 15%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-13-1 に示す。性別でみると、

表 3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	6,810	100.0	544	100.0	7,354	100.0
拠点病院等	6,605	97.0	520	95.6	7,125	96.9
都道府県推薦病院	205	3.0	24	4.4	229	3.1
年齢						
平均年齢 (SD)	70.6(9.4)		70.1(11.4)		70.6(9.5)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	14	0.2	(4-6)		20	0.3
40 歳代	111	1.6	22	4.0	133	1.8
50 歳代	629	9.2	62	11.4	691	9.4
60 歳代	2,304	33.8	146	26.8	2,450	33.3
70 歳代	2,547	37.4	195	35.8	2,742	37.3
80 歳以上	1,205	17.7	113	20.8	1,318	17.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	2,863	42.0	230	42.3	3,093	42.1
II 期	1,600	23.5	126	23.2	1,726	23.5
III 期	1,022	15.0	84	15.4	1,106	15.0
IV 期	1,245	18.3	94	17.3	1,339	18.2
不詳	80	1.2	10	1.8	90	1.2
観血的治療						
有	1,898	27.9	174	32.0	2,072	28.2
原発巣・治癒切除	1,562	22.9	139	25.6	1,701	23.1
原発巣・非治癒切除	200	2.9	22	4.0	222	3.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	136	2.0	13	2.4	149	2.0
無	4,912	72.1	370	68.0	5,282	71.8
発見経緯						
がん検診	16	0.2	0	0.0	16	0.2
健康診断・人間ドック	58	0.9	(1-3)		59	0.8
他疾患経過観察中	1,049	15.4	78	14.3	1,127	15.3
その他・不明	5,687	83.5	465	85.5	6,152	83.7

(3)5年生存率

5年生存率を表3-13-2に示す。全体の5年実測生存率は約69%、ネット・サバイバルが約78%であった。70歳代以上では、実測生存率とネット・サバイバルの差が大きくなっていた。年代別にみたネット・サバイバルは、80歳以上を除き各年代において70%以上であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、全体でI期が約93%、II期が約84%、III期約69%、IV期が約47%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、約79%であった。

表3-13-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間			
全体	68.9	78.4	77.0	79.7	73.7	78.8	74.5	83.1	69.3	78.4	77.1	79.7
拠点病院等	69.0	78.4	77.1	79.8	73.7	78.8	74.4	83.2	69.3	78.5	77.2	79.8
都道府県推薦病院	66.1	75.5	67.5	83.5	73.9	78.9	57.0	100.0	66.8	75.8	68.2	83.4
年齢												
0-39歳	76.9	-			66.7	-			73.7	-		
40歳代	83.0	83.8	76.6	91.0	94.7	-			84.8	85.5	79.2	91.9
50歳代	82.9	85.0	81.9	88.1	81.2	82.2	72.2	92.2	82.8	84.7	81.8	87.7
60歳代	78.0	82.8	81.0	84.6	81.9	83.9	77.3	90.4	78.3	82.9	81.1	84.6
70歳代	68.5	78.4	76.2	80.5	80.3	85.1	79.0	91.2	69.3	78.8	76.8	80.8
80歳以上	43.6	65.9	61.4	70.4	44.9	57.5	45.0	70.0	43.8	65.1	60.9	69.4
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	81.6	93.3	91.5	95.1	87.7	93.7	88.4	98.9	82.0	93.3	91.6	95.0
II期	73.6	83.8	81.1	86.5	74.2	79.3	70.4	88.2	73.7	83.5	80.9	86.0
III期	61.5	69.0	65.5	72.6	61.0	64.2	52.3	76.2	61.5	68.7	65.3	72.1
IV期	41.2	46.2	43.0	49.4	53.9	58.6	47.5	69.7	42.1	47.1	43.9	50.2
不詳	48.3	53.7	39.9	67.5	33.3	-			46.6	51.4	38.5	64.3
観血的治療												
有	68.8	78.6	76.0	81.1	75.6	81.9	74.5	89.2	69.3	78.9	76.4	81.3
原発巣・治癒切除	69.4	79.4	76.6	82.2	76.3	83.0	74.8	91.1	70.0	79.7	77.1	82.4
原発巣・非治癒切除	64.4	74.3	66.4	82.2	57.1	60.0	37.5	82.5	63.7	72.9	65.4	80.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	67.6	75.5	65.8	85.1	100.0	-			70.3	78.2	69.1	87.2
無	69.0	78.3	76.7	79.8	72.9	77.4	72.1	82.6	69.2	78.2	76.7	79.7

14. 胆嚢がん(胆嚢癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	429	6,591	4,948	98.6	74.2
I 期	336	807	176	98.1	71.3
II 期	355	994	365	98.4	74.6
III 期	376	1,374	1,111	98.0	75.7
IV 期	429	3,167	3,076	99.0	73.7

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,591 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 4,948 例、打ち切りが 95 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.6%であった。

男性が約 45%、女性が約 55%であった。診断時の年齢分布をみると、70 歳代が約 36%、80 歳以上が約 33%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、IV 期が 48.1%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 43%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が 38.5%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-14-1 に示す。性別でみると、

表 3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,958	100.0	3,633	100.0	6,591	100.0
拠点病院等	2,649	89.6	3,262	89.8	5,911	89.7
都道府県推薦病院	309	10.4	371	10.2	680	10.3
年齢						
平均年齢 (SD)	73.3(10.2)		74.9(10.6)		74.2(10.5)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	11	0.4	(7-9)		18	0.3
40 歳代	53	1.8	54	1.5	107	1.6
50 歳代	209	7.1	251	6.9	460	7.0
60 歳代	673	22.8	743	20.5	1,416	21.5
70 歳代	1,133	38.3	1,255	34.5	2,388	36.2
80 歳以上	879	29.7	1,323	36.4	2,202	33.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	416	14.1	391	10.8	807	12.2
II 期	454	15.3	540	14.9	994	15.1
III 期	621	21.0	753	20.7	1,374	20.8
IV 期	1,360	46.0	1,807	49.7	3,167	48.1
不詳	107	3.6	142	3.9	249	3.8
観血的治療						
有	1,332	45.0	1,469	40.4	2,801	42.5
原発巣・治癒切除	1,118	37.8	1,244	34.2	2,362	35.8
原発巣・非治癒切除	169	5.7	175	4.8	344	5.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	45	1.5	50	1.4	95	1.4
無	1,626	55.0	2,164	59.6	3,790	57.5
発見経緯						
がん検診	20	0.7	17	0.5	37	0.6
健康診断・人間ドック	176	5.9	114	3.1	290	4.4
他疾患経過観察中	1,251	42.3	1,285	35.4	2,536	38.5
その他・不明	1,511	51.1	2,217	61.0	3,728	56.6

(3)5年生存率

5年生存率を表3-14-2に示す。全体の5年実測生存率はIV期が約半数を占めたことから約24%、ネット・サバイバルが約27%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、全体でI期が約87%、II期が約71%、III期が約20%、IV期が約2%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、約61%で、原発巣・治癒切除例では約69%であった。

表3-14-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	24.1	28.1	26.2	30.0	24.2	26.5	24.9	28.0	24.1	27.2	26.0	28.4
拠点病院等	23.5	27.4	25.4	29.3	23.9	26.2	24.6	27.9	23.8	26.7	26.5	28.0
都道府県推薦病院	29.6	34.8	28.4	41.2	26.1	28.3	23.2	33.4	27.6	31.2	27.2	35.2
年齢												
0-39歳	54.6	-			33.3	-			47.1	-		
40歳代	48.8	49.2	35.5	62.8	34.5	34.7	21.9	47.5	41.6	41.9	32.4	51.4
50歳代	37.9	38.8	32.0	45.6	36.5	36.9	30.8	43.1	37.2	37.8	33.3	42.3
60歳代	25.9	27.5	23.9	31.0	27.5	28.1	24.8	31.5	26.7	27.8	25.4	30.3
70歳代	26.7	30.7	27.7	33.7	27.5	29.3	26.6	32.0	27.1	30.0	28.0	32.0
80歳以上	14.3	21.0	17.4	24.6	16.2	20.3	17.7	22.9	15.4	20.6	18.4	22.7
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	75.8	87.1	81.8	92.3	80.1	87.3	82.6	92.1	77.9	87.2	83.6	90.8
II期	58.9	69.9	64.1	75.6	66.1	72.8	68.2	77.4	62.8	71.4	67.8	75.1
III期	15.4	17.7	14.2	21.1	19.8	21.7	18.5	24.9	17.8	19.9	17.5	22.2
IV期	1.5	1.7	0.9	2.4	2.3	2.4	1.7	3.2	2.0	2.1	1.6	2.7
不詳	13.1	15.6	7.2	24.1	8.7	10.0	4.7	15.3	10.6	12.4	7.6	17.3
観血的治療												
有	51.8	60.2	56.9	63.6	57.0	62.3	59.4	65.2	54.5	61.3	59.1	63.5
原発巣・治癒切除	58.5	68.0	64.4	71.6	64.0	70.0	67.0	73.1	61.4	69.1	66.7	71.4
原発巣・非治癒切除	11.0	13.0	7.4	18.6	13.3	14.7	9.1	20.3	12.2	13.8	9.8	17.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	40.0	46.2	29.8	62.6	30.4	32.6	18.4	46.9	35.2	39.3	28.3	50.2
無	1.4	1.7	0.9	2.4	1.7	1.9	1.2	2.5	1.6	1.8	1.3	2.3

15. 腎がん(腎癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	413	19,960	4,925	97.8	66.2
I期	413	13,665	1,702	97.6	65.4
II期	324	935	166	97.8	64.0
III期	361	2,339	702	98.1	68.1
IV期	396	2,664	2,183	98.3	68.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、19,960例で、5年以内に亡くなっていたのが4,925例、打ち切りが442例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.8%であった。

男性が約71%、女性が約29%であった。診断時の年齢分布をみると、60歳代が31.6%、70歳代が29.5%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が68.5%を占めた。観血的治療の実施割合は、82.0%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が52.1%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-15-1に示す。性別でみると、

表3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	14,120	100.0	5,840	100.0	19,960	100.0
拠点病院等	13,246	93.8	5,468	93.6	18,714	93.8
都道府県推薦病院	874	6.2	372	6.4	1,246	6.2
年齢						
平均年齢 (SD)	65.7 (11.9)		67.4 (12.6)		66.2 (12.1)	
0-14歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39歳	337	2.4	151	2.6	488	2.4
40歳代	1,159	8.2	417	7.1	1,576	7.9
50歳代	2,290	16.2	825	14.1	3,115	15.6
60歳代	4,635	32.8	1,668	28.6	6,303	31.6
70歳代	4,093	29.0	1,789	30.6	5,882	29.5
80歳以上	1,605	11.4	989	16.9	2,594	13.0
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	9,684	68.6	3,981	68.2	13,665	68.5
II期	597	4.2	338	5.8	935	4.7
III期	1,669	11.8	670	11.5	2,339	11.7
IV期	1,926	13.6	738	12.6	2,664	13.3
不詳	244	1.7	113	1.9	357	1.8
観血的治療						
有	11,604	82.2	4,770	81.7	16,374	82.0
原発巣・治癒切除	10,808	76.5	4,495	77.0	15,303	76.7
原発巣・非治癒切除	557	3.9	192	3.3	749	3.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	239	1.7	83	1.4	322	1.6
無	2,516	17.8	1,070	18.3	3,586	18.0
発見経緯						
がん検診	199	1.4	67	1.1	266	1.3
健康診断・人間ドック	2,069	14.7	651	11.1	2,720	13.6
他疾患経過観察中	7,405	52.4	2,995	51.3	10,400	52.1
その他・不明	4,447	31.5	2,127	36.4	6,574	32.9

(3)5年生存率

5年生存率を表3-15-2に示す。全体の5年実測生存率は約75%、ネット・サバイバルが約82%であった。年代別にみたネット・サバイバルは、60歳代までは80%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、全体でI期が約95%、II期が約88%、III期が約77%、IV期が約19%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、約91%で、原発巣・治癒切除例では約94%であった。

表3-15-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	74.6	82.0	81.2	82.9	76.3	80.6	79.4	81.8	75.1	81.6	80.9	82.3
拠点病院等	74.7	82.1	81.2	83.0	76.5	80.8	79.5	82.0	75.2	81.7	81.0	82.4
都道府県推薦病院	73.2	80.8	77.3	84.3	73.4	78.0	73.0	83.0	73.3	80.0	77.1	82.9
年齢												
0-39歳	92.3	92.7	89.8	95.6	90.6	90.8	86.1	95.5	91.8	92.1	89.6	94.6
40歳代	89.2	89.9	88.1	91.8	92.8	93.3	90.7	95.8	90.1	90.8	89.3	92.3
50歳代	85.1	87.1	85.6	88.6	83.2	84.2	81.6	86.8	84.6	86.3	85.0	87.6
60歳代	77.7	82.2	80.9	83.5	81.5	83.5	81.6	85.4	78.7	82.6	81.5	83.6
70歳代	69.6	79.9	78.2	81.5	75.1	80.0	77.8	82.1	71.3	79.9	78.6	81.2
80歳以上	49.0	71.6	67.9	75.4	54.6	66.9	62.9	70.9	51.1	69.8	67.1	72.6
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	86.6	95.1	94.3	95.9	89.2	94.2	93.1	95.3	87.4	94.9	94.2	95.5
II期	80.8	87.8	84.1	91.4	84.1	87.8	83.6	92.1	82.0	87.9	85.1	90.7
III期	70.0	77.9	75.3	80.5	68.7	73.0	69.2	76.9	69.6	76.5	74.4	78.7
IV期	18.5	20.3	18.3	22.3	13.9	14.6	11.9	17.3	17.2	18.7	17.1	20.3
不詳	52.1	57.9	50.4	65.5	49.7	52.3	42.2	62.3	51.3	56.3	50.2	62.4
観血的治療												
有	83.7	91.3	90.5	92.1	86.1	90.5	89.4	91.5	84.4	91.0	90.4	91.7
原発巣・治癒切除	86.3	94.1	93.3	94.8	88.2	92.7	91.7	93.7	86.8	93.7	93.1	94.3
原発巣・非治癒切除	40.7	44.5	39.9	49.0	40.3	42.3	34.8	49.7	40.6	43.9	40.0	47.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	68.4	75.2	68.6	81.7	74.5	78.3	68.5	88.1	70.0	76.0	70.5	81.5
無	31.5	38.4	36.0	40.7	31.9	35.8	32.5	39.1	31.6	37.6	35.7	39.5

16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	399	7,948	4,827	98.4	74.4
I期	363	1,476	470	98.1	73.9
II期	348	1,194	497	98.2	74.8
III期	381	2,199	1,182	98.3	73.7
IV期	399	2,589	2,291	98.9	73.9

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、7,948例で、5年以内に亡くなっていたのが4,827例、打ち切りが125例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.4%であった。

と、男性が約67%、女性が約33%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約38%、80歳以上が約33%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が約33%を占めた。観血的治療の実施割合は、約66%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約35%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-16-1に示す。性別でみる

表3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	5,364	100.0	2,584	100.0	7,948	100.0
拠点病院等	4,921	91.7	2,352	91.0	7,273	91.5
都道府県推薦病院	443	8.3	232	9.0	675	8.5
年齢						
平均年齢 (SD)	73.5 (9.5)		76.3 (9.3)		74.4 (9.5)	
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	(4-6)		(1-3)		(7-9)	
40歳代	64	1.2	19	0.7	83	1.0
50歳代	338	6.3	96	3.7	434	5.5
60歳代	1,350	25.2	444	17.2	1,794	22.6
70歳代	2,041	38.0	974	37.7	3,015	37.9
80歳以上	1,565	29.2	1,049	40.6	2,614	32.9
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	1,051	19.6	425	16.4	1,476	18.6
II期	820	15.3	374	14.5	1,194	15.0
III期	1,494	27.9	705	27.3	2,199	27.7
IV期	1,680	31.3	909	35.2	2,589	32.6
不詳	319	5.9	171	6.6	490	6.2
観血的治療						
有	3,639	67.8	1,623	62.8	5,262	66.2
原発巣・治癒切除	3,207	59.8	1,400	54.2	4,607	58.0
原発巣・非治癒切除	319	5.9	175	6.8	494	6.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	113	2.1	48	1.9	161	2.0
無	1,725	32.2	961	37.2	2,686	33.8
発見経緯						
がん検診	29	0.5	(4-6)		33	0.4
健康診断・人間ドック	190	3.5	62	2.4	252	3.2
他疾患経過観察中	1,969	36.7	842	32.6	2,811	35.4
その他・不明	3,176	59.2	1,676	64.9	4,852	61.0

(3)5年生存率

5年生存率を表3-16-2に示す。全体の5年実測生存率は約39%、ネット・サバイバルが約44%であった。年代別にみたネット・サバイバルは、全体で70歳以上では50%を下回っていた。UICC TNM分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、全体でI期が約78%、II期が約66%、III期が約52%、IV期が約12%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、約62%で、原発巣・治癒切除例では約67%であった。

表3-16-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	39.2	45.5	43.9	47.1	37.8	41.5	39.3	43.7	38.7	44.2	42.9	45.5
拠点病院等	39.2	45.5	43.9	47.2	38.3	42.0	39.7	44.3	38.9	44.4	43.1	45.8
都道府県推薦病院	38.7	45.0	39.1	50.8	32.1	35.5	28.1	43.0	36.4	41.7	37.0	46.3
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	65.5	66.1	54.5	77.8	57.4	-			63.7	64.2	53.8	74.6
50歳代	59.4	60.8	55.4	66.3	62.1	62.8	52.8	72.7	60.0	61.3	56.5	66.1
60歳代	49.6	52.6	49.7	55.5	53.6	55.0	50.2	59.9	50.6	53.2	50.7	55.7
70歳代	40.9	46.9	44.4	49.4	42.3	45.2	41.8	48.5	41.3	46.4	44.4	48.4
80歳以上	22.3	33.1	29.9	36.3	24.1	29.8	26.3	33.3	23.1	31.8	29.4	34.2
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	66.3	77.5	73.8	81.2	71.1	78.2	73.1	83.4	67.7	77.7	74.7	80.8
II期	57.1	66.8	62.5	71.1	59.2	65.0	59.0	71.0	57.8	66.2	62.7	69.7
III期	45.5	52.3	49.2	55.3	46.7	51.0	46.8	55.2	45.9	51.8	49.4	54.3
IV期	11.0	12.4	10.7	14.2	10.5	11.4	9.2	13.7	10.8	12.1	10.7	13.5
不詳	22.4	27.5	21.4	33.6	13.7	15.5	8.1	22.9	19.4	23.3	18.5	28.2
観血的治療												
有	53.7	61.9	60.0	63.9	55.7	60.9	58.2	63.7	54.3	61.6	60.0	63.2
原発巣・治癒切除	58.0	66.9	64.8	69.0	60.1	65.7	62.7	68.6	58.6	66.5	64.8	68.2
原発巣・非治癒切除	17.5	19.9	14.9	24.9	23.0	25.3	18.0	32.6	19.4	21.8	17.6	25.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	32.3	37.7	27.4	48.0	43.8	-			35.8	40.6	32.1	49.2
無	8.3	10.5	8.8	12.3	7.3	8.3	6.1	10.5	7.9	9.7	8.4	11.1

17. 甲状腺がん(甲状腺癌)

甲状腺乳頭濾胞がん(甲状腺乳頭濾胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	380	15,078	1,099	97.2	57.9
I期	380	6,238	258	95.9	49.6
II期	274	754	54	98.1	61.7
III期	375	4,636	237	98.0	63.0
IV期	363	3,202	498	98.3	65.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、15,078例で、5年以内に亡くなっていたのが1,099例、打ち切りが423例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.2%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-17①-1に示す。性別でみ

ると、男性が約27%、女性が約73%であった。診断時の年齢分布をみると、60歳代が最も多く26.1%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が41.4%を占めた。観血的治療の実施割合は、約91%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約45%であった。

表3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	4,118	100.0	10,960	100.0	15,078	100.0
拠点病院等	3,839	93.2	10,153	92.6	13,992	92.8
都道府県推薦病院	279	6.8	807	7.4	1,086	7.2
年齢						
平均年齢 (SD)	58.8(15.3)		57.5(15.8)		57.9(15.7)	
0-14歳	13	0.3	30	0.3	43	0.3
15-39歳	492	11.9	1,564	14.3	2,056	13.6
40歳代	633	15.4	1,819	16.6	2,452	16.3
50歳代	706	17.1	2,011	18.3	2,717	18.0
60歳代	1,158	28.1	2,781	25.4	3,939	26.1
70歳代	878	21.3	2,076	18.9	2,954	19.6
80歳以上	238	5.8	679	6.2	917	6.1
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	1,467	35.6	4,771	43.5	6,238	41.4
II期	227	5.5	527	4.8	754	5.0
III期	1,162	28.2	3,474	31.7	4,636	30.7
IV期	1,176	28.6	2,026	18.5	3,202	21.2
不詳	86	2.1	162	1.5	248	1.6
観血的治療						
有	3,679	89.3	9,973	91.0	13,652	90.5
原発巣・治癒切除	3,131	76.0	8,698	79.4	11,829	78.5
原発巣・非治癒切除	377	9.2	888	8.1	1,265	8.4
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	171	4.2	387	3.5	558	3.7
無	439	10.7	987	9.0	1,426	9.5
発見経緯						
がん検診	88	2.1	323	2.9	411	2.7
健康診断・人間ドック	803	19.5	1,609	14.7	2,412	16.0
他疾患経過観察中	1,832	44.5	5,005	45.7	6,837	45.3
その他・不明	1,395	33.9	4,023	36.7	5,418	35.9

(3)5年生存率

5年生存率を表3-17①-2に示す。全体の5年実測生存率は約93%、ネット・サバイバルが約96%であった。年代別にみたネット・サバイバルは、80歳以上を除く各年代が90%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、全体でIV期でも約99%であった。

表3-17①-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	88.7	94.6	93.5 95.7	94.2	97.1	96.6 97.6	92.7	96.4	95.9 96.9
拠点病院等	88.7	94.6	93.4 95.7	94.1	97.0	96.5 97.5	92.6	96.3	95.8 96.8
都道府県推薦病院	89.0	94.6	90.2 98.9	95.4	98.8	97.0 100.0	93.8	97.7	96.0 99.4
年齢									
0-39歳	97.7	98.0	96.7 99.4	99.3	99.5	99.1 99.9	98.9	99.2	98.7 99.6
40歳代	97.9	98.6	97.5 99.8	98.6	99.1	98.6 99.7	8.4	99.0	98.5 99.5
50歳代	95.6	97.7	96.1 99.3	97.7	98.8	98.1 99.4	97.1	98.5	97.8 99.1
60歳代	88.8	93.9	92.0 95.9	95.8	98.1	97.3 98.8	93.7	96.9	96.1 97.7
70歳代	80.7	93.3	89.3 95.4	88.4	93.8	92.3 95.3	86.1	93.4	92.0 94.8
80歳以上	54.3	77.8	68.2 87.5	71.0	87.3	82.8 91.8	66.7	84.9	80.7 89.1
UICC TNM分類総合ステージ									
I期	93.0	96.4	95.0 97.9	96.7	98.6	98.1 99.1	95.9	98.1	97.6 98.6
II期	91.1	98.9	94.4 100.0	94.1	98.4	96.1 100.0	93.2	98.6	96.5 100.0
III期	91.9	99.1	97.2 100.0	95.8	99.4	98.6 100.0	94.8	99.3	98.6 100.0
IV期	80.9	87.7	85.1 90.4	86.5	90.4	88.8 92.1	84.4	89.5	88.0 90.9
不詳	75.3	82.6	72.0 93.2	79.1	82.0	74.6 89.4	77.8	82.2	76.1 88.3
観血的治療									
有	92.5	98.1	97.1 99.1	96.4	99.2	98.8 99.6	95.4	98.9	98.5 99.3
原発巣・治癒切除	93.4	98.8	97.8 99.8	96.9	99.6	99.2 100.0	96.0	99.4	99.0 99.8
原発巣・非治癒切除	85.8	92.0	88.0 96.0	92.8	96.3	94.4 98.1	90.7	95.0	93.2 96.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	91.6	98.2	93.4 100.0	93.9	96.6	94.0 99.1	93.2	97.1	94.8 99.4
無	56.1	64.0	58.2 69.8	71.0	76.0	72.7 79.3	66.5	72.4	69.5 75.3

甲状腺未分化がん(甲状腺未分化癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	177	321	299	99.4	73.6
I 期	1	(1-3)	0	100.0	77.0
II 期	1	(1-3)	(1-3)	100.0	81.0
IV 期	177	313	292	99.4	73.4

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、321 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 299 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、99.4%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17②-1 に示す。性別で見ると、男性が約 41%、女性が約 59%であった。診断時の年齢分布をみると、70 歳代が最も多く約 39%であった。観血的治療の実施割合は、約 38%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 14%であった。

表 3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	133	100.0	188	100.0	321	100.0
拠点病院等	124	93.2	169	89.9	293	91.3
都道府県推薦病院	(7-9)		19	10.1	28	8.7
年齢						
平均年齢 (SD)	71.6(10.3)		75.0(10.2)		73.6(10.3)	
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40 歳代	(4-6)		(1-3)		(4-6)	
50 歳代	(7-9)		11	5.9	20	6.2
60 歳代	35	26.3	44	23.4	79	24.6
70 歳代	59	44.4	67	35.6	126	39.3
80 歳以上	25	18.8	65	34.6	90	28.0
UICC TNM 分類総合ステージ						
IV 期	131	98.5	182	96.8	313	97.5
不詳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
観血的治療						
有	48	36.1	73	38.8	121	37.7
原発巣・治癒切除	22	16.5	37	19.7	59	18.4
原発巣・非治癒切除	26	19.5	36	19.1	62	19.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)		(4-6)		(7-9)	
無	83	62.4	109	58.0	192	59.8
発見経緯						
がん検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
健康診断・人間ドック	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
他疾患経過観察中	22	16.5	24	12.8	46	14.3
その他・不明	110	82.7	162	86.2	272	84.7

(3)5年生存率

5年生存率を表3-17②-2に示す。全体の5年実測生存率、ネット・サバイバルともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	5.3	5.7	1.7 9.7	6.5	6.8	3.2 10.5	6.0	6.3	3.6 9.1
拠点病院等	5.7	-		6.0	6.3	2.6 10.0	5.9	6.2	3.4 9.1
都道府県推薦病院	-	-		10.5	-		7.1	7.7	0.0 17.0
年齢									
0-39歳	-	-		-	-		-	-	
40歳代	20.0	-		-	-		16.7	-	
50歳代	22.2	-		27.3	27.6	3.4 51.5	25.0	25.4	7.3 43.6
60歳代	2.9	3.1	0.0 7.9	9.1	9.2	1.2 17.2	6.3	6.5	1.3 11.8
70歳代	5.2	-		6.2	-		5.7	-	
80歳以上	-	-		1.6	-		1.1	-	
UICC TNM分類総合ステージ									
IV期	5.4	-		6.2	6.4	2.8 10.0	5.8	6.1	3.4 8.9
不詳	-	-		-	-		-	-	
観血的治療									
有	12.0	12.9	3.5 22.4	13.2	13.9	60.4 21.7	12.7	13.5	7.3 19.6
原発巣・治癒切除	13.6	-		19.4	-		17.2	-	
原発巣・非治癒切除	7.7	8.2	0.0 18.0	5.9	6.1	0.0 13.2	6.7	6.9	0.7 13.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	50.0	-		16.7	-		25.0	-	
無	1.2	-		1.8	-		1.6	-	

甲状腺髄様がん(甲状腺髄様癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	34	130	13	96.9	55.9
I 期	33	40	(1-3)	95.0	50.2
II 期	22	26	(1-3)	96.2	57.5
III 期	22	22	0	100.0	57.9
IV 期	34	41	(7-9)	97.6	59.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象は130例で、集計対象全体で生存状況把握割合は、96.9%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17③-1 に示す。対象数が限られるため全体でのみ示す。診断時の平均年齢は55.9歳であった。観血的治療を受けた者が118名で

あった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が65名であった。

(3) 5年生存率

5年生存率を表 3-17③-2 に示す。全体の5年実測生存率が90.1%、ネット・サバイバルが93.2%であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表 3-17③-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	130	100.0
拠点病院等	125	96.2
都道府県推薦病院	(4-6)	
年齢		
平均年齢 (SD)	55.9 (17.1)	
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	21	16.2
40 歳代	24	18.5
50 歳代	21	16.2
60 歳代	34	26.2
70 歳代	21	16.2
80 歳以上	(7-9)	
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	40	30.8
II 期	26	20.0
III 期	22	16.9
IV 期	41	31.5
不詳	(1-3)	
観血的治療		
有	118	90.8
原発巣・治癒切除	112	86.2
原発巣・非治癒切除	(4-6)	
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)	
無	12	9.2
発見経緯		
がん検診	(4-6)	
健康診断・人間ドック	18	13.8
他疾患経過観察中	65	50.0
その他・不明	43	33.1

表 3-17③-2 属性別 5年生存率

	全体			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	90.1	93.2	87.5	98.9
拠点病院等	89.7	92.8	86.8	98.7
観血的治療				
有	92.7	95.9	90.6	100.0
無	63.6	-		

18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2014-2015	372	11,683	4,288	98.3	58.0
I期	372	4,879	549	98.0	54.2
II期	302	1,013	257	97.6	58.2
III期	356	3,506	1,907	98.9	60.0
IV期	369	1,866	1,355	98.7	64.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、11,683例で、5年以内に亡くなっていた者が4,288例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.3%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-18-1に示す。診断時の年齢分布をみると、60歳代が最も多く約26%、次いで50歳代が約24%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約42%を占めた。観血的治療の実施割合は、約85%であった。

表3-18-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	11,683	100.0
拠点病院等	10,941	93.6
都道府県推薦病院	742	6.4
年齢		
平均年齢 (SD)	58.1 (14.6)	
0-14歳	63	0.5
15-39歳	1,020	8.7
40歳代	2,144	18.4
50歳代	2,832	24.2
60歳代	3,072	26.3
70歳代	1,753	15.0
80歳以上	799	6.8
UICC TNM分類総合ステージ		
I期	4,879	41.8
II期	1,013	8.7
III期	3,506	30.0
IV期	1,866	16.0
不詳	419	3.6
観血的治療		
有	9,905	84.8
原発巣・治癒切除	6,957	59.5
原発巣・非治癒切除	2,119	18.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	829	7.1
無	1,778	15.2
発見経緯		
がん検診	418	3.6
健康診断・人間ドック	459	3.9
他疾患経過観察中	2,285	19.6
その他・不明	8,521	72.9

(3)5年生存率

5年生存率を表3-18-2に示す。全体の5年実測生存率は約63%、ネット・サバイバルが約65%であった。年代別にみたネット・サバイバルは、全体としては70歳以上でやや低い傾向にあった。UICC TNM分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、全体でⅠ期が90.6%、Ⅱ期が76.6%、Ⅲ期が46.2%、Ⅳ期が27.8%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは73.0%で、原発巣・治癒切除例では81.6%であった。

表3-18-2 属性別5年生存率

	実測	Net	95%信頼区間	
全体	63.1	64.5	63.6	65.5
拠点病院等	63.3	64.7	63.8	65.7
都道府県推薦病院	60.3	61.9	58.1	65.7
年齢				
0-39歳	84.7	84.9	82.7	87.1
40歳代	74.5	74.9	73.0	76.7
50歳代	69.5	70.2	68.5	72.0
60歳代	60.3	61.7	60.0	63.5
70歳代	48.2	51.0	48.5	53.5
80歳以上	23.7	29.3	25.6	33.0
UICC TNM分類総合ステージ				
Ⅰ期	88.7	90.6	89.7	91.5
Ⅱ期	74.9	76.6	73.8	79.4
Ⅲ期	45.1	46.2	44.5	47.9
Ⅳ期	27.1	27.8	25.7	29.9
不詳	46.7	48.0	43.0	53.0
観血的治療				
有	71.4	73.0	72.1	73.9
原発巣・治癒切除	79.8	81.6	80.6	82.6
原発巣・非治癒切除	46.0	47.1	45.0	49.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	66.1	67.7	64.4	71.1
無	16.0	16.7	14.9	18.5

付表一覧

1. 集計対象施設一覧
2. 都道府県別 2014-2015年5年生存率集計(※コメントが集まり次第掲載)
3. 施設別 2014-2015年5年生存率集計(※コメントが集まり次第掲載)

都道府県	施設名称
北海道	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター
北海道	JA北海道厚生連 旭川厚生病院
北海道	王子総合病院
北海道	市立札幌病院
北海道	JA北海道厚生連 帯広厚生病院
北海道	北見赤十字病院
北海道	市立函館病院
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院
北海道	JA北海道厚生連 札幌厚生病院
北海道	手稲溪仁会病院
北海道	独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院
北海道	勤医協中央病院
北海道	JA北海道厚生連遠軽厚生病院
青森	八戸市立市民病院
岩手	岩手県立中央病院
岩手	岩手県立二戸病院
岩手	岩手医科大学附属病院
岩手	岩手県立中部病院
岩手	岩手県立磐井病院
岩手	岩手県立宮古病院
岩手	岩手県立胆沢病院
岩手	岩手県立大船渡病院
岩手	岩手県立久慈病院
岩手	岩手県立釜石病院
宮城	東北大学病院
宮城	宮城県立がんセンター
宮城	石巻赤十字病院
宮城	仙台医療センター
宮城	大崎市民病院
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
宮城	みやぎ県南中核病院
秋田	秋田大学医学部附属病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合 大曲厚生医療センター
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター
秋田	秋田赤十字病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院
秋田	大館市立総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会秋田厚生医療センター
秋田	中通総合病院
秋田	市立秋田総合病院
山形	山形県立中央病院
山形	山形大学医学部附属病院
山形	山形市立病院済生館
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院
山形	日本海総合病院
山形	鶴岡市立荘内病院

都道府県	施設名称
福島	労働者健康安全機構福島労災病院
福島	一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院
福島	福島県立医科大学附属病院
福島	太田西ノ内病院
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院
福島	総合南東北病院
福島	会津中央病院
福島	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院
茨城	茨城県立中央病院
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター
茨城	東京医科大学茨城医療センター
茨城	友愛記念病院
茨城	茨城西南医療センター病院
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院
茨城	国立病院機構水戸医療センター
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター
栃木	自治医科大学附属病院
栃木	栃木県済生会宇都宮病院
栃木	獨協医科大学病院
栃木	那須赤十字病院
栃木	足利赤十字病院
栃木	独立行政法人国立病院機構宇都宮病院
群馬	伊勢崎市民病院
群馬	群馬県立がんセンター
群馬	群馬大学医学部附属病院
群馬	国立病院機構沼田病院
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
群馬	公立富岡総合病院
群馬	桐生厚生総合病院
群馬	前橋赤十字病院
群馬	群馬中央病院
群馬	群馬県済生会前橋病院
群馬	原町赤十字病院
埼玉	さいたま赤十字病院
埼玉	埼玉県立がんセンター
埼玉	深谷赤十字病院
埼玉	春日部市立医療センター
埼玉	さいたま市立病院
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター
埼玉	川口市立医療センター
埼玉	国立病院機構埼玉病院
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院
埼玉	上尾中央総合病院

都道府県	施設名称
埼玉	埼玉石心会病院
埼玉	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院
埼玉	秀和総合病院
埼玉	自治医科大学附属さいたま医療センター
千葉	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院
千葉	国保旭中央病院
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院
千葉	千葉県がんセンター
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院
千葉	船橋市立医療センター
千葉	千葉大学医学部附属病院
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター
千葉	東京歯科大学市川総合病院
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院
千葉	松戸市立総合医療センター
千葉	日本医科大学千葉北総病院
千葉	地方独立行政法人さんむ医療センター
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
東京	東京都立駒込病院
東京	青梅市立総合病院
東京	NTT 東日本関東病院
東京	日本赤十字社医療センター
東京	日本大学医学部附属板橋病院
東京	武蔵野赤十字病院
東京	がん研有明病院
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院
東京	日本医科大学付属病院
東京	聖路加国際病院
東京	帝京大学医学部附属病院
東京	東京医科大学八王子医療センター
東京	杏林大学医学部付属病院
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院
東京	昭和大学病院
東京	慶應義塾大学病院
東京	東京都立多摩総合医療センター
東京	公立昭和病院
東京	虎の門病院
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
東京	東京医科歯科大学医学部附属病院
東京	日本医科大学多摩永山病院
東京	東京都立大塚病院
東京	国家公務員共済組合連合会東京共済病院
東京	東京都済生会中央病院
東京	東京都立墨東病院
東京	社会福祉法人 三井記念病院
東京	東大和病院

都道府県	施設名称
東京	国立成育医療研究センター
神奈川	神奈川県立がんセンター
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
神奈川	横浜市立市民病院
神奈川	小田原市立病院
神奈川	川崎市立井田病院
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院
神奈川	東海大学医学部付属病院
神奈川	北里大学病院
神奈川	横浜労災病院
神奈川	横浜市立みなと赤十字病院
神奈川	大和市立病院
神奈川	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
神奈川	独立行政法人 労働者健康安全機構 関東労災病院
神奈川	済生会横浜市東部病院
神奈川	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター
神奈川	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター
神奈川	済生会横浜市南部病院
神奈川	神奈川県立こども医療センター
神奈川	湘南鎌倉総合病院
神奈川	平塚市民病院
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院
新潟	新潟県立中央病院
新潟	長岡赤十字病院
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央総合病院
新潟	新潟大学医歯学総合病院
新潟	県立新発田病院
富山	富山県立中央病院
富山	黒部市民病院
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
富山	国立大学法人 富山大学附属病院
富山	厚生連高岡病院
富山	市立砺波総合病院
石川	国立大学法人金沢大学附属病院
石川	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
石川	石川県立中央病院
石川	金沢医科大学病院
石川	小松市民病院
石川	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院
石川	独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
石川	芳珠記念病院
福井	福井県立病院
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院
福井	福井赤十字病院
福井	福井大学医学部附属病院
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター
福井	市立敦賀病院

都道府県	施設名称
山梨	山梨県立中央病院
山梨	山梨大学医学部附属病院
山梨	市立甲府病院
長野	JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
長野	諏訪赤十字病院
長野	飯田市立病院
長野	長野市民病院
長野	長野赤十字病院
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院
長野	伊那中央病院
長野	独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター
長野	長野県立木曾病院
長野	北アルプス医療センターあづみ病院
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合
岐阜	岐阜市民病院
岐阜	岐阜大学医学部附属病院
岐阜	高山赤十字病院
岐阜	岐阜県総合医療センター
岐阜	岐阜県立多治見病院
岐阜	大垣市民病院
岐阜	社会医療法人厚生会 木沢記念病院
岐阜	松波総合病院
岐阜	朝日大学病院
静岡	静岡県立静岡がんセンター
静岡	静岡県立総合病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院
静岡	沼津市立病院
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院
静岡	静岡市立静岡病院
静岡	藤枝市立総合病院
静岡	浜松医科大学医学部附属病院
静岡	浜松医療センター
静岡	磐田市立総合病院
静岡	焼津市立総合病院
静岡	富士宮市立病院
愛知	愛知県がんセンター
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
愛知	海南病院
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター
愛知	小牧市民病院
愛知	豊橋市民病院
愛知	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院
愛知	一宮市立市民病院
愛知	公立陶生病院
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

都道府県	施設名称
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
愛知	藤田医科大学病院
愛知	春日井市民病院
愛知	愛知医科大学病院
愛知	岡崎市民病院
三重	伊勢赤十字病院
三重	三重大学医学部附属病院
三重	済生会松阪総合病院
三重	松阪市民病院
滋賀	市立長浜病院
滋賀	滋賀県立総合病院
滋賀	大津赤十字病院
滋賀	彦根市立病院
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院
滋賀	淡海医療センター
滋賀	近江八幡市立総合医療センター
滋賀	済生会滋賀県病院
京都	京都府立医科大学附属病院
京都	京都桂病院
京都	京都市立病院
京都	京都第一赤十字病院
京都	京都第二赤十字病院
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
京都	市立福知山市民病院
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
大阪	高槻赤十字病院
大阪	市立岸和田市民病院
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター
大阪	市立豊中病院
大阪	大阪国際がんセンター
大阪	大阪市立総合医療センター
大阪	大阪赤十字病院
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
大阪	大阪医科薬科大学病院
大阪	近畿大学病院
大阪	大阪公立大学医学部附属病院
大阪	関西医科大学附属病院
大阪	国立病院機構大阪医療センター
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院
大阪	大阪府済生会千里病院
大阪	箕面市立病院
大阪	パナソニック健康保険組合 松下記念病院
大阪	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院
大阪	堺市立総合医療センター
大阪	ベルランド総合病院
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院
大阪	関西電力病院

都道府県	施設名称
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院
大阪	大阪警察病院
大阪	和泉市立総合医療センター
大阪	八尾市立病院
大阪	関西医科大学総合医療センター
大阪	社会医療法人美杉会佐藤病院
大阪	医療法人藤井会石切生喜病院
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院
大阪	財団法人田附興風会 北野病院
大阪	市立ひらかた病院
兵庫	兵庫県立がんセンター
兵庫	神戸大学医学部附属病院
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院
兵庫	姫路赤十字病院
兵庫	赤穂市民病院
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院
兵庫	兵庫県立淡路医療センター
兵庫	兵庫医科大学病院
兵庫	兵庫県立丹波医療センター
兵庫	神戸市立西神戸医療センター
兵庫	神鋼記念病院
兵庫	加古川中央市民病院
奈良	奈良県立医科大学附属病院
奈良	奈良県総合医療センター
奈良	天理よろづ相談所病院
奈良	近畿大学奈良病院
奈良	市立奈良病院
奈良	大和高田市立病院
奈良	社会福祉法人恩賜財団 済生会中和病院
和歌山	紀南病院
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
和歌山	公立那賀病院
鳥取	鳥取県立厚生病院
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター
鳥取	鳥取県立中央病院
鳥取	鳥取市立病院
鳥取	鳥取大学医学部附属病院
島根	松江市立病院
島根	松江赤十字病院
島根	島根大学医学部附属病院
島根	島根県立中央病院
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
島根	松江医療センター
岡山	岡山済生会総合病院
岡山	岡山赤十字病院

都道府県	施設名称
岡山	岡山大学病院
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
岡山	津山中央病院
岡山	岡山医療センター
岡山	川崎医科大学附属病院
岡山	岡山市立市民病院
岡山	金田病院
岡山	一般社団法人 倉敷成人病センター
岡山	川崎医科大学総合医療センター
広島	広島大学病院
広島	県立広島病院
広島	広島赤十字・原爆病院
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
広島	東広島医療センター
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院
広島	福山市民病院
広島	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院
広島	公立学校共済組合 中国中央病院
山口	山口県立総合医療センター
山口	国立病院機構 岩国医療センター
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院
山口	山口大学医学部附属病院
山口	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター
山口	医療法人医誠会 都志見病院
徳島	徳島県立中央病院
徳島	国立大学法人 徳島大学病院
徳島	徳島赤十字病院
香川	香川県立中央病院
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院
香川	三豊総合病院
香川	高松赤十字病院
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院
愛媛	市立宇和島病院
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
愛媛	住友別子病院
愛媛	愛媛大学医学部附属病院
愛媛	愛媛県立中央病院
愛媛	松山赤十字病院
愛媛	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
高知	高知県立幡多けんみん病院
福岡	久留米大学病院
福岡	公立八女総合病院
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院
福岡	社会保険田川病院
福岡	飯塚病院

都道府県	施設名称
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
福岡	北九州市立医療センター
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
福岡	九州大学病院
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
福岡	福岡県済生会福岡総合病院
福岡	福岡大学病院
福岡	聖マリア病院
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
福岡	産業医科大学病院
福岡	戸畑共立病院
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院
福岡	福岡大学筑紫病院
福岡	一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院
福岡	医療法人原三信病院
佐賀	地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院
佐賀	唐津赤十字病院
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
長崎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
長崎	国立大学法人 長崎大学病院
長崎	長崎県島原病院
長崎	佐世保中央病院
熊本	熊本大学病院
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院
熊本	人吉医療センター
熊本	熊本赤十字病院
熊本	国立病院機構 熊本医療センター
熊本	済生会熊本病院
熊本	荒尾市民病院
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院
熊本	大腸肛門病センター高野病院
熊本	天草地域医療センター
大分	大分県立病院
大分	大分赤十字病院
大分	大分大学医学部附属病院
大分	大分県済生会日田病院
大分	中津市立中津市民病院
大分	独立行政法人国立病院機構大分医療センター
宮崎	宮崎県立宮崎病院
宮崎	国立病院機構 都城医療センター
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院
鹿児島	国立大学法人 鹿児島大学病院
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター
鹿児島	独立行政法人国立病院機構南九州病院
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター

都道府県	施設名称
鹿児島	鹿児島市立病院
鹿児島	公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院
鹿児島	医療法人徳洲会大隅鹿屋病院
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター
鹿児島	社会医療法人 博愛会 相良病院
鹿児島	公益社団法人鹿児島共済会南風病院
鹿児島	鹿児島市医師会病院
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院
沖縄	沖縄県立中部病院
沖縄	国立大学法人 琉球大学病院
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院
沖縄	沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
沖縄	独立行政法人国立病院機構 沖縄病院

関係者一覧

【監修】

東 尚弘 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター
石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【解析・執筆・編集】

石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室
山元 遥子 国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部
渡部 万里 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室
新藤 奈奈世 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【データ収集】

塚田 庸一郎 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室
近藤 誓哉 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室

院内がん登録生存率集計の事務局

国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター院内がん登録分析室
担当：石井、渡部、新藤

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
電話：03-3547-5201(内線 1600)
メールアドレス：hbcr_analysis@ml.res.ncc.go.jp

院内がん登録 2014-2015 年 5 年生存率集計 報告書

2023 年 3 月第 1 刷発行(非売品)

編 集 東尚弘 石井太祐

発 行 国立研究開発法人 国立がん研究センター

がん対策研究所 がん登録センター

問い合わせ先: 院内がん登録分析室

〒104-0045 東京都中央区築地五丁目 1 番 1 号

電話 03-3542-2511